

**第3回日本・インドネシア学長会議を開催
国際本部グローバルリレーション室設置記念「英国シェフィールド大学
広報部門長アニー・ゴス氏を招いての講演会及びラウンドテーブル」を開催**



1 北大フロンティア基金を育てましょう

■ 全学ニュース

- 2 第3回日本・インドネシア学長会議を開催
- 3 国際本部グローバルリレーション室設置記念「英国シェフィールド大学広報部門長アニー・ゴス氏を招いての講演会及びラウンドテーブル」を開催
- 4 独立行政法人日本学術振興会 平成27年度科研費審査委員の表彰に本学から4名
- 4 第17回九大・北大合同フロンティア・セミナーを開催
- 5 北大フロンティア基金
- 6 AO入試合格者の発表
- 6 帰国子女入試合格者の発表
- 7 大学入試センター試験
本学一般入試個別学力検査等 実施体制等の決定
- 9 高等教育推進機構等自衛消防訓練の実施
- 9 英語発音力講座を開催
- 10 第28回北海道大学教育ワークショップ (FD) を開催
- 11 平成27年度ICTセミナーを開催
- 12 「第5回北大発ベンチャー促進懇談会10月例会～ミドリムシで東証一部上場した大学発ベンチャーのバイオニア株式会社ユウグレナが創ったベンチャーキャピタル」を実施
- 13 「メッセナゴヤ2015」に出展
- 13 「第29回ビジネスEXPO2015」に出展
- 14 「Matching HUB Kanazawa 2015 Autumn」に出展
- 14 「アグリビジネス創出フェア」に出展
- 15 保健センターで「秋の保健センター見学会 (Autumn Fair at the Health Care Center)」を開催

■ 部局ニュース

- 16 水産科学研究院が地方独立行政法人青森県産業技術センターとの連携・協力に関する協定を締結
- 17 電子科学研究所附属社会創造数学研究センター設置記念式典を開催
- 18 教育学研究院で「北海道大学教育学研究院・中国人民大学教育学院共同シンポジウム2015」を開催
- 19 生命科学学院が「第3回生命科学国際シンポジウム」を開催
- 20 国際広報メディア・観光学院で国際ワークショップを開催
- 20 メディア・コミュニケーション研究院公開講座「民衆・記憶・アート」が終了
- 21 平成27年度低温科学研究所公開講座「広がる低温の魅力～低温科学の最前線～」を実施
- 22 観光学高等研究センター公開講座「記憶をめぐる観光論～アーカイブ構築とアイデンティティ形成～」を開催

生命科学学院
「第3回生命科学国際シンポジウム」メディア・コミュニケーション研究院
公開講座「民衆・記憶・アート」

第28回北海道大学教育ワークショップ (FD)



秋の保健センター見学会

- 23 平成27年度薬学部成績優秀賞授与式を挙行
- 23 薬学研究院・薬学部で「実験動物慰霊祭」を挙行
- 24 歯学研究科で「動物供養祭」を挙行
- 24 「法科大学院に関するアドバイザーグループ会議」を開催
- 25 法学研究科・法学部・公共政策大学院で留学生パーティを開催
- 25 環境科学院でFD「ポートフォリオ講習会」を開催
- 26 農学研究院で平成27年度第1回FD研修会を開催
- 27 北方生物圏フィールド科学センター和歌山研究林で業務体験セミナーを開催
- 28 環境健康科学研究教育センターが世界保健機関 (WHO) の研究協力機関認証式と指定記念講演を開催
- 29 「脳科学研究教育センター合宿研修」の開催
- 30 防災訓練等の実施
- 31 物質科学リーディングプログラムが第3回国際シンポジウムを開催

■ 諸会議の開催状況 32

■ 学内規程 32

■ 研修

- 33 平成27年度北海道地区国立大学法人等事務情報化講習会 (Access研修 初級編・クエリ編)
- 33 平成27年度北海道地区国立大学法人等アドビフォトショップ / イラストレータ研修
- 34 平成27年度国立大学法人北海道大学簿記研修
- 34 平成27年度北海道地区国立大学法人等会計事務研修 (上級)
- 35 平成27年度北海道大学教務事務実務研修
- 35 平成27年度北海道地区国立大学法人等会計基準研修

■ 表敬訪問 36

■ 人事 37

- 37 新任教授紹介

■ 訃報

- 38 名誉教授 勝井 義雄 氏

■ 資料

- 39 平成27年度外国人留学生数 (平成27年11月1日現在)
- 40 平成27年度国別外国人留学生数 (平成27年11月1日現在)
- 41 北大時報掲載記事事項別一覧 (平成27年掲載分)

環境健康科学研究教育センター
世界保健機関 (WHO) 研究協力機関認証式と
指定記念講演

脳科学研究教育センター合宿研修

表紙：北方生物圏フィールド科学センター和歌山研究林業務体験セミナー（関連記事27頁に掲載）

裏表紙：北の鉄道風景㊸ 冬の鉄路を護る

北大フロンティア基金を育てましょう

理事 菅野 政利



平成18年10月から募金を開始した「北大フロンティア基金」は、活動開始から9年を迎えました。この間に多数の法人・個人の皆様から寄せられましたご厚意に感謝申し上げます。

北大フロンティア基金は9歳になりました

北大フロンティア基金は、平成16年4月に国立大学が法人化され大学運営の自由度が拡大される一方、運営費交付金が毎年減額される厳しい財政事情を背景に、独自の財源を拡充する必要から、本学130年目の挑戦として創設したものです。

募金目標額は50億円とし、第2期中期目標期間終了時点でその半分程度を目途として募金活動を進めて参りましたが、おかげさまで本年3月末現在、募金累計額は約30億円となっています。内訳は、企業等からの寄付が延べ744件で約14億円、卒業生、在學生、父兄、教職員など個人からの寄付が延べ16,109件で約16億円です。

また、年度別の推移をみると、実質初年度となる平成19年度の7億円をピークにキャンペーン期間であった当初5年間は比較的好調に集まっていましたが、主だった企業等法人への依頼が概ね一巡したこともあり、年々寄付受入額が減少し、昨年度は1億5千万円に留まりました。

北大フロンティア基金は困っています

北大フロンティア基金の資金は、新渡戸カレッジ生をはじめとする海外留学奨学金、成績優秀者等への各種奨学金、海外からの留学生への生活支援、運動部・文化サークルな

どへの活動支援、コミュニケーションスキルアップセミナーなどの就職活動支援、大学病院院内学級整備や学部等の教育研究への助成支援などに幅広く活用されてきました。

本学は今、「Hokkaidoユニバーサルキャンパス・イニシアチブ」構想を進めており、海外への留学生派遣や海外からの留学生受入を大幅に増やしていく予定で、これまで以上に奨学金資金が必要になる見込みです。資金運用環境も厳しく超低金利が続くなか、これらの資金を運用益だけでは到底賄えず、本来積立金を想定していた一般資金も、寄付金の元本部分を取り崩さざるを得ない状況となっています。

北大フロンティア基金を育てましょう

現任教職員の寄付率は何のくらいだと思いますか？ 実は、現任教職員の北大フロンティア基金への寄付率は、延数で約50%に留まっています。これは複数回を含む延数ですので、つまり、半数以上の教職員はまだ一度も寄付をしていないことになります。

基金室としては、今後より一層精力的に企業や卒業生、在學生父兄等に寄付を呼びかけて参ります。寄付をお願いできそうな企業や篤志家などに関し思い当たるがありましたら、どんどん基金室へ情報をお寄せください。また外部に頼ると併せ、内輪である現任教職員の皆さんにもご協力いただきたいと思います。

北海道大学の未来のために、皆さんで北大フロンティア基金を育てましょう。そして、皆さんの名前が北大総合博物館の銘板に刻まれること（寄付額累計20万円以上）を期待しています。

■全学ニュース

第3回日本・インドネシア学長会議を開催



来賓及び代表者の集合写真

11月5日(木)・6日(金)の2日間、第3回日本・インドネシア学長会議を、本学主催により、本学及び京王プラザホテル札幌において開催しました。

同学長会議は、日本とインドネシア両国大学間の学術交流促進を目的として、これまで平成24年に第1回、平成25年に第2回を開催しているもので、第3回となる今回は、「持続可能な社会に向けた研究及び教育における連携」をテーマに、両国から49大学、約120名が出席して行われました。

初日のオープニングセッションでは、山口佳三総長及びインドネシア大学学長協会会長であるHerry Suhardiyantoボゴール農科大学学長による挨拶が行われ、続いて、文部科学省高等教育局高等教育企画課国際企画室の鈴木規子室長補佐及びインドネシア研究・技術・高等教育省総局のAgus Indarjo官房長から来賓挨拶がありました。

引き続き行われた基調講演では、国立研究開発法人科学技術振興機構の濱口道成理事長が「Innovation & Universities~From our experiences~」と題した講演を行い、両国参加者は、イノベーションの重要性や産学連携の事例などに興味深く聞き入っていました。

1日目午後は、「教育連携」「研究連携」「産学連携」の3つのテーマに分かれて分科会が行われました。それぞれのグループで大学における先進的な取組みが紹介され、両国間の連携に向けた方策について活発な議論が行わ

れました。

分科会終了後、参加者は札幌キャンパスを訪問し、人獣共通感染症に特化した研究と専門家育成を目的とする「人獣共通感染症リサーチセンター」と、食・運動・健康・医療の連携によるイノベーション創出に向けた研究開発事業の推進・支援を行う「フード&メディカルイノベーション国際拠点」を見学しました。

見学後には参加者は会場に戻り、レセプションに出席しました。山口総長とHerry学長の挨拶で始まったレセプションは、途中、公認学生団体の「邦楽研究会」による演奏があり、参加者は和楽器の音色に耳を傾けながら、歓談を通じて懇親を深めていました。

2日目は、分科会報告と閉会式が行われました。分科会報告では、前日に行われた分科会の内容について、各分科会の議長から報告が行われ、両国間の連携強化に向けて、各大学での取組み事例を踏まえた提言が出されました。これらの報告の内容を上田一郎理事・副学長が総括し、分科会報告は終了しました。

引き続き行われた閉会式では、議長を務めた山口総長が2日間の議論をまとめ、これまでの協力関係を基に長期にわたる学際的な連携を推進する重要性を強調した議長総括を発表して閉幕しました。

(国際本部国際連携課)



山口総長



Herry学長



鈴木室長補佐



Indarjo官房長



濱口理事長による基調講演



邦楽研究会による演奏

国際本部グローバルリレーション室設置記念 「英国シェフィールド大学広報部門長アニー・ゴス氏を招いての 講演会及びラウンドテーブル」を開催



関係者集合写真

国際本部グローバルリレーション室では11月17日（火）、英国シェフィールド大学広報部門長のアニー・ゴス氏を招いての講演会及びラウンドテーブルを開催しました。午前中の講演会には学内より教職員38名、役員4名の計42名、午後のラウンドテーブルには教職員13名が参加し、活発な議論が交わされました。

グローバルリレーション室は「北海道大学近未来戦略150」とその実行計画である「Hokkaidoユニバーサルキャンパス・イニシアチブ」構想（平成26年度「スーパーグローバル大学創成支援」事業採択）に明言されている4つのシステム改革のうちの1つ「国際広報力の強化」を実現するために、11月1日に設置されました。

シェフィールド大学は2015-2016THE（タイムズ・ハイヤー・エデュケーション）世界大学ランキング97位、イギリス国内大学における学生満足度ランキング1位を誇ります。講演会では、いかにしてこうした結果を得ることができたかについて、広報部門長で

あるアニー・ゴス氏より様々な具体策が紹介されました。質疑応答では、本学の国際広報における課題に関する質問もあり、活発なやり取りが交わされました。

午後から行われたラウンドテーブルでは、参加者の所属部局毎に直面する懸案が率直に提示され、それに対してゴス氏よりシェフィールド大学の事案に照らしてのアドバイスをいただく、という形式でディスカッションが交わされました。

国際広報は、優秀な外国人留学生にいかにも本学を選んでもらうか、というインバウンド局面と、卒業後の進路を選ぶ時に本学卒業生のアカデミックな能力を信頼してもらうか、というアウトバウンド局面の両方に効果を発揮できるように設計することが重要である、とのアドバイスが出されました。また、学内部局の広報担当者同士のネットワークがいかにも重要かということも改めて確認し合い、今後の連絡会開催への道筋をつけることができたことは、大きな成果といえます。

終始一貫して多彩な議論が繰り広げられ、今後すぐにでも着手できる広報のアイデアやヒントを多数得られるなど、設置記念のキックオフにふさわしい実り多き講演会及びラウンドテーブルとなりました。

（国際本部国際連携課）



シェフィールド大学のゴス氏



ラウンドテーブル中のゴス氏



シェフィールド大学の紹介



講演会の様子



講演中のゴス氏

独立行政法人日本学術振興会 平成27年度科研費審査委員の表彰に本学から4名



左から仙北准教授、岡准教授、倉本教授、今井准教授、川端理事・副学長

独立行政法人日本学術振興会より、10月30日（金）に平成27年度科研費審査委員の表彰者が公表されました。今年度は、科学研究費（科研費）助成事業の書面審査において有意義な審査意見を付した審査委員として、対象者約

5,500名の中から189名が表彰されています。

本学からは、文学研究科の今井 順准教授、理学研究院の倉本 圭教授、工学研究院の岡 和彦准教授、仙北久典准教授の4名が表彰されました。

川端理事室にて11月18日（水）に伝達式が行われ、川端和重理事・副学長より表彰状と記念品が手渡されました。

（研究推進部研究振興企画課）

第17回九大・北大合同フロンティア・セミナーを開催

11月13日（金）、ステーションコンファレンス東京（東京都千代田区丸の内）において、「資源のフロンティア」をテーマに第17回九大・北大合同フロンティア・セミナーを開催しました。

本セミナーは、本学と九州大学が現在進めている研究について、広く産業界、社会人、同窓生の皆様に知っていただき、各分野の方々との連携・交流を深めるため、平成20年度から合同で開催しています。

第17回目を迎えた今回のセミナーは、

様々な分野の方や多くの同窓生からの申込があり、約130名の方々が参加されました。

セミナーは、九州大学の山縣由美子理事及び本学の網塚 浩総長補佐による挨拶で始まり、引き続き本学工学研究院の広吉直樹教授、川崎 了教授、九州大学大学院工学研究院の島田英樹教授による講演が行われました。

パネルディスカッションでは、九州大学の渡邊公一郎副理事がコーディネーターとなり、講演者の広吉教授、

川崎教授、島田教授がパネリストとなって、講演内容を中心に参加者から寄せられた質問への回答を交えながら進められ、盛会のうちに終了しました。

なお、平成28年1月23日（土）には都市センターホテル（東京都千代田区平河町）で第11回北海道大学・九州大学合同活動報告会を開催します。

（研究推進部研究振興企画課）



講演を行う広吉教授



講演を行う川崎教授

北大フロンティア基金

北大フロンティア基金は、本学の創基130年を機に、教育研究の一層の充実を図り、これまで以上に自主性・自立性を発揮して大学としての使命を果たすため、平成18年10月に創設しました。

募金目標額は50億円です。奨学金制度の充実や留学生への支援などの学生支援を中心に、研究支援、学部等支援など様々な事業を行っており、期限を付さない、息の長い募金活動することとしています。

皆様には基金の趣旨にご賛同いただき、ご協力をお願いします。

北大フロンティア基金情報	17,601件 3,053,597,735円
基金累計額 (11月30日現在)	教職員の寄附率 35.8% (1,418件/3,962人)

11月のご寄附状況

個人53名の方々から3,045,000円のご寄附を賜りました。

そのご厚志に対しまして感謝を申し上げますとともに、同意をいただいている方々のご芳名、銘板の掲示、感謝状の贈呈について掲載させていただきます。(五十音別・敬称略)

寄附者ご芳名 (個人)

合川 正幸	朝倉 清高	浅野 賢二	池崎 英二	石川 弥穂	入澤 秀次	小内 透	小原 大和
帰山 雅秀	金川 眞行	河本 充司	日下 大器	小長井奎幸	斉藤 久	佐々木幸子	佐々木尚志
三升畑元基	清水 智之	須田 孝徳	関本 信	瀬名波栄潤	高波 鐵夫	土家 琢磨	寺澤 睦
豊田 威信	二宮新次郎	林 達也	福田 勝洋	福地 光男	藤田 正文	森下 高吉	山内 隆嗣
山口 良文	山下 裕久	山城 明伸	吉田 俊宏	吉田 広志			

銘板の掲示 (20万円以上のご寄附)

(個人)

池崎 英二、石川 弥穂、二宮新次郎、山下 裕久

感謝状の贈呈



故 石川弥穂様のご家族 様 (平成27年11月25日)

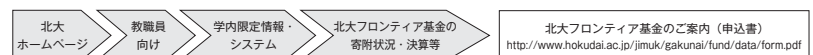


株式会社アインホールディングス 様
(平成27年11月30日)

ご寄附のお申し込み方法

①給与からの引き落とし

申込書は、本学ホームページの「学内限定情報・システム」からダウンロードし、ご記入の上基金事務室に提出してください。



②郵便局または銀行への振り込み

基金事務室にご連絡ください。払込取扱票をお渡します。

③現金でのご寄附

寄附申込書に現金を添えて、事務局財務部経理課収入担当にご持参ください。申込書は、本学ホームページから上記①の要領でダウンロードしてご記入いただくか、各局事務担当及び事務局財務部経理課収入担当にご用意していますので、ご利用ください。

④クレジットカードでのご寄附

北大フロンティア基金ホームページ (<http://www.hokudai.ac.jp/fund/form.html>) のクレジットカード寄附申込フォームから申込をお願いします。

北大フロンティア基金に関する問い合わせ 基金事務室 (事務局・学内電話 2017)

(総務企画部広報課)

AO入試合格者の発表

平成28年度AO入試は、募集人員59名に対し、103名の出願があり、自己推薦書、個人評価書等の出願書類による第1次選考合格者に対して、11月15日（日）に第2次選考の課題論文と面接試験を実施し、12月1日（火）に合格者発表が行われ、17名が合格しました。

なお、大学入試センター試験を課す医学部及び工学部の合格者発表は、来年2月9日（火）を予定しています。

(学務部入試課)

平成28年度AO入試合格者数等一覧

学部・学科等		募集人員	志願者数	倍率	合格者	
理学部	物理学科	5	5 (1)	1.0	1 (1)	
	地球惑星科学科	5	16 (2)	3.2	5 (0)	
医学部	医学科	5	4 (0)	0.8	-	
	保健学科	看護学専攻	7	21 (17)	3.0	-
		作業療法学専攻	4	3 (1)	0.8	-
歯学部		5	14 (3)	2.8	5 (1)	
工学部	応用理工系学科 (応用マテリアル工学コース)	4	2 (0)	0.5	-	
	環境社会工学科 (社会基盤学コース)	4	1 (0)	0.3	-	
水産学部		20	37 (8)	1.9	6 (0)	
計		59	103 (32)	1.7	17 (2)	

※ () 内の数字は、道内高校出身者で内数。

帰国子女入試合格者の発表

平成28年度帰国子女入試は、11学部62名の出願があり、出願書類による第1次選考合格者に対し、11月15日（日）に第2次選考の課題論文と面接試験を実施し、12月1日（火）に合格者発表が行われ、15名が合格しました。

(学務部入試課)

平成28年度帰国子女入試合格者数等一覧

学部・学科等		募集人員	志願者数	合格者数	
文学部		若干名	3 (1)	1 (1)	
教育学部			3 (1)	1 (0)	
法学部			6 (2)	2 (1)	
経済学部			8 (4)	2 (0)	
理学部	数学科		-	-	
	物理学科		1 (0)	1 (0)	
	化学科		2 (1)	-	
	生物科学科		生物学専修分野	1 (1)	-
			高分子機能学専修分野	-	-
地球惑星科学科			1 (0)	-	
医学部	医学科		8 (5)	-	
	保健学科		看護学専攻	2 (2)	1 (1)
			放射線技術科学専攻	-	-
			検査技術科学専攻	-	-
			理学療法学専攻 作業療法学専攻	1 (1)	-
歯学部			2 (1)	-	
薬学部			1 (1)	-	
工学部	応用理工系学科		2 (1)	1 (1)	
	情報エレクトロニクス学科		6 (1)	3 (0)	
	機械知能工学科		6 (1)	2 (1)	
	環境社会工学科	3 (0)	-		
農学部		4 (3)	1 (1)		
獣医学部		2 (2)	-		
水産学部		-	-		
計			62 (28)	15 (6)	

※ () 内の数字は、女子で内数。

大学入試センター試験 本学一般入試個別学力検査等 実施体制等の決定

11月20日（金）開催のアドミッションセンター企画運営会議・総務部門・試験場部会合同会議において、平成28年度大学入試センター試験及び本学一般入試個別学力検査等に係る実施体制等を決定しました。

なお、大学入試センター試験については、藤女子大学、天使大学、東海大学札幌キャンパス、北海道武蔵女子短期大学との共同実施となります。

主な事項は、次のとおりです。

（学務部入試課）

大学入試センター試験

1 実施本部の設置

試験実施について総括し、連絡・調整するため実施本部を設け、その下に総務部、試験場部、救急医療部、連絡部及び広報部を置く。

2 試験場及び担当学部

（札幌市）

試験場・会場	試験場所	担当学部等
北海道大学試験場		
農学部会場	農学部	農学部
人文・社会科学総合教育研究棟会場	人文・社会科学総合教育研究棟	※経済学部・法学部
理学部会場	理学部	理学部
工学部会場	工学部	工学部
高等教育推進機構A会場	高等教育推進機構E棟2階	※文学部・教育学部
高等教育推進機構B会場	高等教育推進機構E棟3階	※歯学部・薬学部
保健科学研究所会場	保健科学研究所	※獣医学部・医学部
高等教育推進機構N会場	高等教育推進機構N棟	実施本部・武蔵女子短大
藤女子大学試験場	藤女子大学	藤女子大学・天使大学・東海大学

※は、複数学部で担当する試験場の主担当学部。

（函館市）

試験場・会場	試験場所	担当学部
北海道大学水産学部試験場	水産学部	水産学部

なお、監督者説明会を平成28年1月8日（金）及び1月13日（水）に学術交流会館で開催しますので、監督者等となった方はいずれか一方に必ず出席願います。

本学一般入試個別学力検査等

1 実施本部の設置

試験実施について総括し、連絡・調整するため実施本部を設け、その下に総務部、出題部、採点部、試験場部、救急医療部、連絡部及び広報部を置く。

2 試験場及び担当学部

前期日程

試 験 場	試 験 場 所	担 当 学 部
第1試験場（農 学 部）	農 学 部	農 学 部
第2試験場（人文・社会科学総合教育研究棟）	人文・社会科学総合教育研究棟	※教 育 学 部 ・ 文 学 部
第3試験場（理 学 部）	理 学 部	理 学 部
第4試験場（工 学 部）	工 学 部	工 学 部
第5試験場（高等教育推進機構E棟1階、2階）	高等教育推進機構E棟1階、2階	※医 学 部 ・ 獣 医 学 部
第6試験場（高等教育推進機構E棟3階）	高等教育推進機構E棟3階	※薬 学 部 ・ 歯 学 部
第7試験場（保健科学研究所）	保 健 科 学 研 究 院	※法 学 部 ・ 経 済 学 部

※は、複数学部で担当する試験場の主担当学部。

（上記7試験場で受験者を収容できない場合、別の試験場を設けることがある。）

（第5試験場は、高等教育推進機構大講堂、N1、N2の教室を含む。）

（第5試験場の2日目は医学部が担当する。）

後期日程

試 験 場	試 験 場 所	担 当 学 部
第1試験場（農 学 部）	農 学 部	農 学 部
第2試験場（人文・社会科学総合教育研究棟）	人文・社会科学総合教育研究棟	※経 済 学 部 ・ 法 学 部
第3試験場（理 学 部）	理 学 部	理 学 部
第4試験場（薬 学 部）	薬 学 部	薬 学 部
第5試験場（歯 学 部）	歯 学 部	歯 学 部
第6試験場（工 学 部）	工 学 部	工 学 部
第7試験場（高等教育推進機構E棟1階、2階）	高等教育推進機構E棟1階、2階	※文 学 部 ・ 教 育 学 部
第8試験場（高等教育推進機構N棟）	高 等 教 育 推 進 機 構 N 棟	獣 医 学 部
第9試験場（高等教育推進機構E棟3階）	高 等 教 育 推 進 機 構 E 棟 3 階	医 学 部
第10試験場（水 産 学 部）	水 産 学 部	水 産 学 部

※は、複数学部で担当する試験場の主担当学部。

なお、監督者説明会を前期日程は平成28年2月16日（火）及び2月19日（金）、後期日程は3月8日（火）及び3月10日（木）に高等教育推進機構大講堂で開催しますので、前期日程または後期日程において、監督者等となった方はいずれか一方に必ず出席願います。

高等教育推進機構等自衛消防訓練の実施

高等教育推進機構では、高等教育推進機構、附属図書館北図書館、メディア・コミュニケーション研究院、放送大学北海道学習センターと合同で、11月17日（火）12時より消防訓練を実施しました。

今回の訓練は、高等教育推進機構E棟1階給湯室から出火したことを想定し、札幌市北消防署立会いのもと、約500名の学生・教職員が参加し、自衛消防隊が通報連絡、初期消火及び避難誘導等の一連の訓練に取り組みました。

また、特別修学支援室と連携し、災害弱者となりうる肢体不自由学生及び聴覚障害学生への模擬対応を初めて実

施しました。

肢体不自由学生への取り組みでは、緊急対応者が車いすを避難経路に置いて避難誘導を行いました。避難経路に車いすがあれば、避難時に負傷者が出た場合でも、安全かつ迅速に対応が可能となることが分かりました。

聴覚障害学生への取り組みでは、避難誘導班が避難場所を明示したゼッケンを着用し誘導を行いました。文字で避難場所を認識できるため、聴覚障害学生のみならず、誰にとっても有効な方法であることが確認できました。

訓練終了後、札幌市北消防署員から「各自衛消防隊は適切に行動してい

た。今後は災害に備えた対応が重要」などの講評がありました。

最後に、自衛消防隊本部隊長である新田孝彦理事・副学長から災害時の障害学生への対応を踏まえた上で「災害が起きた時に、一緒に学ぶ仲間が困っていたら、手を差し伸べて欲しい」との挨拶がありました。

今回の訓練は今後の災害弱者を含めた避難体制の構築へ向けて貴重な機会となりました。

（学務部学生支援課）



学生の避難の様子



車いすによる避難誘導



避難場所を明示したゼッケン

英語発音力講座を開催

高等教育推進機構高等教育研修センターでは、教職員に対するFD・SDの一環として、11月14日（土）、16日（月）に英語発音力講座を実施しました。

本講座は、社会のグローバル化が進行する中、授業や日常業務において英語でコミュニケーションを取ることができる教職員の養成の支援として実施したもので、道内他大学の教職員を含め、延べ約200名が参加しました。

講師として、米国で発声学の研究経験がある株式会社プロンテストの奥村真知代表取締役をお招きし、英語の発音を聴音レベル（舌や歯などの位置関

係等）で細やかに理論的にご指導いただきました。

事後アンケートでは、「先生が一人ずつの発音をチェックしてくれたのが良かった」「日本人が発音しにくい音に特化されていて良かった」等の意見が見られ、多くの方にご好評をいただきました。

高等教育研修センターでは、既存の研修に加えて、今後も新しい研修を開催する予定ですので、積極的にご参加願います。

（高等教育推進機構）



研修を行う奥村氏



研修の様子

第28回北海道大学教育ワークショップ（FD）を開催



集合写真

高等教育推進機構高等教育研修センターでは、北海道の大学等に着任して5年以内の新任教員を対象とした新任教員研修（北海道大学教育ワークショップ）を11月20日（金）・21日（土）の両日、北広島市の北広島クラッセホテルを会場に合宿形式で開催しました。

本ワークショップは、本学が平成10年度から毎年実施してきたもので、今年度は9月に初めて学内で実施し、年2回から年3回に拡大しました。

今年度は、「学生主体型授業の設計」をテーマに開催し、本学及び道内の大学等の教員20名の参加がありました。仮想の授業科目を発案し、そのシラバス作成を通じて、教育の基礎を理

解し、授業のデザイン方法、新しい教育手法等を身に付けることを目指しました。

開催にあたり、新田孝彦センター長から挨拶があった後、バスで北広島へ移動し、早速4グループに分かれてシラバスを作成する研修に入りました。

このプログラムは、1つの課題について「レクチャー」「グループ討論」「成果の発表、全体討論」を1セットとして、3つの課題を行い、参加者はシラバスを具体的に作り上げていく過程を通して、授業の目的・内容・評価方法の3つの基本的要素を体験的に学びました。また、各セットの間には自身のシラバスの校正と講師による添

削、自身の教育観について考えるワークショップが行われました。

最後に、細川敏幸副センター長から受講者へ教育ワークショップ修了証書が手渡され、全日程が終了しました。

事後アンケートでは「討論の時間がちょうどよく設定されていたので楽しみながら作業することができた」「自分の教育観について考えるチャンスになった」等の意見が見られ、大変有意義なワークショップとなりました。

高等教育研修センターでは、既存のFDに加えて新しい試みも実施していますので、積極的にご参加願います。

（高等教育推進機構）



グループ討論の様子



課題成果発表の様子



修了証書授与の様子

平成27年度ICTセミナーを開催

10月28日（水）午後1時30分から、工学部フロンティア応用科学研究棟セミナー室1において、情報環境推進本部主催・サイバーセキュリティセンター共催による「平成27年度ICTセミナー」を開催しました。例年のセキュリティセミナーにAdobe Acrobatセミナーを加えての2部構成は、初の試みとなります。

第1部は、アドビシステムズ株式会社法人営業部門の今西祐之氏より「PDFを作るだけじゃない!!プロに学ぶその利活用」と題して、様々な文書

の「PDF変換」方法から、「文書の結合」「編集・加工」の基本操作、PDFをMS Office形式に変換する「再利用」方法について解説が行われました。

第2部は、南 弘征サイバーセキュリティセンター長から挨拶の後、トレンドマイクロ株式会社サイバー攻撃レスポンスチームの中村俊一氏より「攻撃者視点から考える、標的型サイバー攻撃への効果的な対策」と題して、昨今の標的型サイバー攻撃（標的型メール等）への効果的な対策について、実際にデモを交えながら攻撃者の視点で

解説が行われました。

両セミナーには約50人の教職員及び学生が参加し、熱心にメモを取る姿や質疑応答をする姿も見受けられました。

情報環境推進本部では今後もICTセミナーを開催し、本学の教職員・学生の情報システム及びセキュリティに関する認識を高めていきます。

（情報環境推進本部情報推進課）



挨拶する南サイバーセキュリティセンター長



参加者の様子

「第5回北大発ベンチャー促進懇談会10月例会～ミドリムシで東証一部上場した大学発ベンチャーのパイオニア株式会社ユーグレナが創ったベンチャーキャピタル」を実施

10月29日（木），医学部フラテ学友会館2階特別会議室にて「第5回北大発ベンチャー促進懇談会10月例会～ミドリムシで東証一部上場した大学発ベンチャーのパイオニア株式会社ユーグレナが創ったベンチャーキャピタル」を実施しました。

この懇談会の目的は，本学の教員，学生などが保有する起業計画を発掘し，支援の機会を拡大することであり，主催が本学産学・地域協働推進機構，共催として独立行政法人中小企業基盤整備機構北海道本部，後援が経済産業省北海道経済産業局，北海道，札幌市，北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会，一般財団法人さっぽろ産業振興財団，公益財団法人北海道中小企業総合支援センター，株式会社北洋銀行，株式会社東京大学エッジキャピタル，北海道ベンチャーキャピタル株

式会社となっています。

まず，産学・地域協働推進機構の牧内勝哉副機構長の趣旨説明と挨拶から始まり，ショートプレゼンテーションとして，「リアルテック育成ファンドについて」をテーマに株式会社ユーグレナ取締役／株式会社ユーグレナインベストメント代表取締役社長の永田暁彦氏，「グローカリングについて」をテーマに株式会社グローカリング取締役の中原拓氏，「三井不動産のベンチャー共創事業の取り組み」をテーマに三井不動産株式会社ベンチャー共創事業部主事の光村圭一郎氏に登壇いただきました。

その後，講師による対談として，「リアルテックベンチャー経験者が運営するリアルテックファンドの使命とは？」をテーマに，国立研究開発法人産業技術総合研究所客員研究員の倉田

健児氏をコーディネーターとしてディスカッションが行われました。

また，講師の皆様には第2部として，事前もしくは当日に申し込んだ参加者からの起業及び起業経験に関する質問や相談に対応していただきました。

本懇談会の次回以降の予定は，来年1月28日（木）です。既に起業プランがある方はもちろん，漠然とした起業への思いを抱いている方もぜひご参加ください。

◆問い合わせ先

産学・地域協働推進機構産学推進本部
創業デスク担当 須田

E-mail：startup@mcip.hokudai.ac.jp

内線：9559

（産学・地域協働推進機構）



牧内副機構長



講師対談の様子
（左から倉田氏，永田氏，中原氏，光村氏）



会場の様子

「メッセナゴヤ2015」に出展

11月4日（水）～7日（土）に、ポートメッセなごや 名古屋市国際展示場にて「メッセナゴヤ2015」が開催され、本学も出展しました。

メッセナゴヤは、2005年日本国際博覧会「愛・地球博」（愛知万博）の理念（環境、科学技術、国際交流）を継承する事業として2006年にスタートした「異業種交流の祭典」です。本イベントは、日本最大級の異業種交流会であり、総ブース数は1,300、総来場者数

は63,802名にのびりました。

本学は「北海道ブース」（北海道経済部産業振興局主催）の中で出展し、今年度新たにオープンしたフード&メディカルイノベーション国際拠点や、オープンファシリティの施設や機器類、北キャンパスにおいて実施している研究から事業化までの一貫した産学連携の取り組みについて紹介しました。

本学のブースには、東海地域の企業の皆様をはじめ、多くの本学のOB、

OGの方や北海道に縁のある方に来ていただきました。17年前まで、北キャンパスは農地でしたが、当時を知る方は現在の航空写真を見てとても驚かれています。

本学の整備された研究環境を東海近隣の方々に知っていただき、多くの方が本学に来ていただければと思っています。

（産学・地域協働推進機構）



北海道ブースの様子



本学の展示ポスター

「第29回ビジネスEXPO2015」に出展



本学ブース展示の様子

11月5日（木）・6日（金）、アクセスサッポロ（札幌市白石区）にて「ビジネスEXPO2015」が開催され、本学も出展しました。

ビジネスEXPOは、出展企業や機関が、新製品のアイデア、新たな販路の開拓とその拡大、そして事業発展のきっかけになるような新技術・新商品

等を積極的にアピールすることで、来場者とその情報を「発見」できる魅力的な場所の提供を目的としています。

本年は、「新・北海道創生～英知とPassionで切り拓け！～」が開催テーマであり、ビジネスEXPOに集う企業、行政、大学、研究機関、マスメディア等の“英知”と“Passion（情熱）”

が繋がり、新たな北海道を“創生”していく契機となるイベント構成となっていました。

本学のブースでは、工学研究院の中村 孝教授の「疲労特性・耐環境性の高度化を実現するナノ微細化表面改質技術“Cyclic Press法”の開発」、情報科学研究科の田中 章准教授の「劣化写真の復元に関する研究」といった研究成果の発信や、「フード&メディカルイノベーション国際拠点の施設等案内」、「オープンファシリティ」などの紹介を行い、多くの方にお越しいただきました。

今回は出展者が367社・機関、来場者が2日間で20,665名となり、過去最多の規模となりました。地元企業や中小企業支援機関等の皆様との交流がますます深まった一日となりました。

（産学・地域協働推進機構）

「Matching HUB Kanazawa 2015 Autumn」に出展

11月16日（月）・17日（火）にANAクラウンプラザホテル金沢（石川県金沢市）で行われた「Matching HUB Kanazawa 2015 Autumn」に出展しました。

このイベントは、「北陸地域の活性化を目指した新産業創出と人材育成」をテーマに北陸先端科学技術大学院大学が中核となって企画・実施したもので、16日（月）は各種テクニカルセッションや特別講演、17日（火）は226ブースで企業や大学のパネル展示がありました。

16日（月）のテクニカルセッションには10のテーマがあり、そのうちのひとつ、「観光と地域間交流」は、本学観光学高等研究センターの敷田麻実教授が座長のセッションでした。まず、北海道と北陸の観光事情や取り組みについて、小樽商科大学ビジネス創造セン

ターの後藤英之准教授、北陸学院大学短期大学の沢田史子准教授、合同会社加賀温泉代表社員の萬谷浩幸氏、アイバブリッシング株式会社代表取締役の福島健一郎氏によるミニ講演がありました。その後、その地域特有の課題や解決方法について議論を進め、観光産業の活性化を目指した地域間交流のあり方についてパネルディスカッションが行われました。会場から多くの質問があり、大盛況に終わりました。

17日（火）のブース出展では、今年度新たにオープンしたフード&メディカルイノベーション国際拠点や、本学のオープンファシリティの施設や機器類、北キャンパスにおいて実施している研究から事業化までの一貫した産学連携の取り組みについて紹介しました。本ブースを通じて、株式会社北陸銀行や福井大学など、多くの北陸の皆様と

の交流が深まった一日となりました。今後、本学が北海道と北陸の連携の拠点として機能できればと思っています。

（産学・地域協働推進機構）



本学ブース展示の様子

「アグリビジネス創出フェア」に出展

11月18日（水）～20日（金）に東京ビッグサイトで開催された、アグリビジネス創出フェア「知の集積と地方創生」に出展しました。開催初日には本学ブースに農林水産省の伊東良孝副大臣が立ち寄られ、産学・地域協働推進機構の木曾良信特任教授が本学の研究成果について説明しました。

今回のフェアでは、農学研究院の原博教授、小関成樹准教授、水産科学研究院の宮下和夫教授の研究紹介、及び食科学プラットフォームの取り組みについて紹介しました。「研究・技術プレゼンテーション」では原教授が研究紹介を行い、またコーディネーターによる「マッチングサポートツアー」では、「機能性食品」と「素材海藻ビジネスはいかが？ - 海藻には健康成分がいっぱい」がツアーに選ばれ、原教授、木曾特任教授がそれぞれ企業の皆様に研究を紹介しました。約40社の企

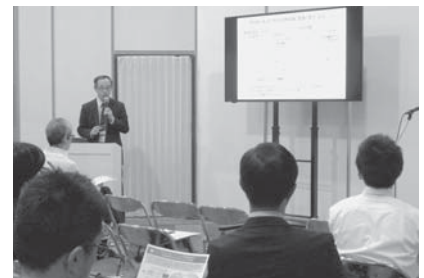
業の方々が本学ブースを訪れ、本学の研究開発に大いに興味を持っていただくことができました。これからも積極的に研究成果について情報発信を行い、

企業との共同研究やプロジェクトの創出に繋げる活動を行っていきます。

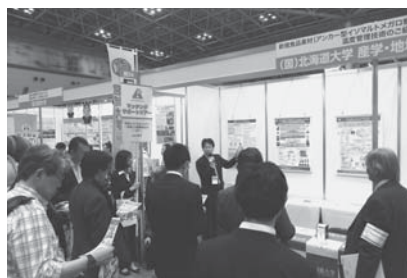
（産学・地域協働推進機構）



農林水産省 伊東副大臣の訪問の様子



原教授のプレゼンテーションの様子



マッチングツアーの様子



ブースの様子

保健センターで「秋の保健センター見学会 (Autumn Fair at the Health Care Center)」を開催

10月28日(水)～30日(金)の3日間(各日午前9～11時)、保健センターにおいて「秋の保健センター見学会」を開催しました。

本見学会は、新入留学生が入学する秋に、保健センターの活動や存在意義を広め、国際化に合わせた支援活動を提供し、新入留学生の健康管理に大きく貢献すること、そして当センター職員と新入留学生が触れ合い、交流することで、健康上の相互理解を深めることを目的として企画され、3日間で47名が来場しました。

会場には5つのコーナーが設けられ、「大切なFirst Aidについて」の

コーナーでは感染予防についての説明や体温測定体験が行われ、「札幌市無料HIV検査施設のご案内」では資料の無料配付と説明、「血圧測定」では血圧測定体験と留学生版の血圧手帳、食事や塩分などの指導説明文などを配付しました。「こころの健康について」のコーナーでは「Mental Health First Aid」についての掲示とリラクゼーション法のDVDを上映しました。

また、来日して間もない留学生がリラックスできる空間として、「Wellness Cafe」(カフェ)を企画し、コーヒー、紅茶、日本茶を用意してドリンクサービスを行いました。

事後のアンケートでは、「とてもわかりやすい情報だった」「親切で詳しく説明してくれた」「これから役立つことを教えてもらうことができた」等、いずれもかなり満足度の高い回答を得ることができました。特に、カフェは留学生のしばしの憩いと交流の場となり、とても好評でした。アンケートに回答した全員が再度の参加を希望しており、今後、更に充実した見学会を目指して企画・実施していく予定です。

(保健センター)



「大切なFirst Aidについて」のコーナー



「札幌市無料HIV検査施設のご案内」のコーナー



「血圧測定」コーナー



「こころの健康について」のコーナー



リラクゼーション法についてのDVD上映



「Wellness Cafe」

■ 部局ニュース

水産科学研究院が地方独立行政法人青森県産業技術センターとの連携・協力に関する協定を締結



協定書を交わした渋谷理事長（左）と安井研究院長（右）

本研究院は、地方独立行政法人青森県産業技術センターと相互の密接な連携と協力により、これまで実施してきた研究や人材交流での連携をより進めるため、11月4日（水）に連携・協力に関する協定を締結しました。

当日は、青森国際ホテル（青森市）で協定調印式が行われ、安井 肇研究院長と渋谷義仁理事長が協定書に署名

しました。

今回の協定締結により、これまで実施してきたホタテやマダラなどの共同研究や、近年の地球温暖化による海況変化などに応じた広域的な研究、同センター職員の本学院博士課程への受入れに加えて、来年3月の北海道新幹線開業で青森地域とより身近となり、今後は、津軽海峡の水産資源の把握や管

理をより多角的な視点から連携・協力することが可能となります。津軽海峡圏での新産業創出をはじめ、より一層、函館と青森の地域発展に寄与することが期待されています。

（水産科学院・水産科学研究院・水産学部）

電子科学研究所附属社会創造数学研究センター設置記念式典を開催

電子科学研究所附属社会創造数学研究センターの設置を記念して、11月4日（水）午前10時から、フロンティア応用科学研究棟鈴木木章ホールにて、記念シンポジウム及び記念式典を開催しました。国内外の数学・数理科学関係者、学内関係者等143名が参加しました。

記念シンポジウムでは海外の招待講演者4名（Bao-Liang Lu上海交通大学教授，Haw Yangプリンストン大学教授，Holger Waalkensグローニンゲン大学教授，James P. Keenerユタ大学教授）と学内の招待講演者2名（伊藤公人獣共通感染症リサーチセンター教授，芳賀 永先端生命科学研究院教授）による，数理科学と諸分野の連携研究について研究発表があり，活発な

議論が行われました。

引き続き開催した記念式典では，西井準治電子科学研究所長が式辞を述べ，山口佳三総長の挨拶の後，行松泰弘文部科学省研究振興局基礎研究振興課長，坪井 俊東京大学大学院数理科学研究科長，桑原輝隆政策研究大学院大学教授，山田真治日立製作所基礎研究センター長に祝辞をいただきました。

その後，西浦廉政東北大学原子分子材料科学高等研究機構教授の「中心と周縁－社会創造数学研究センターに期待するもの－」と題した記念講演が行われました。

午後5時からは，会場をファカルティハウス「エンレイソウ」に移し祝賀会が行われました。岡本 久京都大学数理解析研究所副所長から祝辞をいただ

いた後，津田一郎理学研究院教授（旧数学連携研究センター長）から挨拶があり，川端和重理事・副学長による祝杯の音頭で懇談に移り，和やかな雰囲気の中，福本康秀九州大学マス・フォア・インダストリ研究所長，萩原一郎明治大学先端数理科学インスティテュート所長，Keenerユタ大学教授及び大本 亨理学研究院数学専攻長のスピーチに続き，小谷元子東北大学原子分子材料科学高等研究機構長と村松淳司東北大学多元物質科学研究所長からいただいた祝電の披露がありました。最後は，寺尾宏明副学長の乾杯で盛会のうちに終了しました。

（電子科学研究所）



西井所長の式辞



山口総長の挨拶



文部科学省研究振興局基礎研究振興課 行松課長の祝辞



東北大学 西浦教授による記念講演

教育学研究院で「北海道大学教育学研究院・中国人民大学教育学院共同シンポジウム2015」を開催



参加者の集合写真

教育学院・教育学研究院・教育学部では、平成25年に中国人民大学教育学院と学术交流協定を締結し、毎年シンポジウムを開催しています。

今年度のシンポジウムは本学において、中国人民大学から項賢明教授（学術委員会主席）をはじめ6名をお招き

し、11月26日（木）に教育学研究院会議室で、「転換期における教育改革と打開策」をテーマに開催しました。本シンポジウムに先立ち、中国人民大学一行と小内透研究院長の懇談が持たれ、記念品の交換が行われました。シンポジウムでは小内研究院長の挨拶を

皮切りに中国人民大学から3名（申素平教授、程方平教授、羅雲准教授）が教育格差の解消や教育機会の保障という問題を中国の視点から報告し、本研究院からは2名（小内研究院長、篠原岳司准教授）が戦後において最も大きな変換期を迎えようとしている日本の教育改革について報告しました。本局には中国からの留学生が多いこともあり、両国の最新の教育事情について熱心に耳を傾け、本研究院の張揚助教と朴仁哲氏（博士後期課程修了）の通訳により、活発な質疑応答が行われました。

今回のシンポジウムでは、両校の研究交流事業の持続的発展について改めて確認しました。今後も教員及び学生のさらなる交流の継続が期待されます。

（教育学院・教育学研究院・教育学部）



申教授（右）から記念品を受取る小内研究院長（左）



開会の辞を述べる小内研究院長



シンポジウムの様子



閉会の辞を述べる項教授（左）と宮崎隆志副研究院長（右）

生命科学院が「第3回生命科学国際シンポジウム」を開催

11月26日（木）、学術交流会館を会場に“The 3rd International Life-Science Symposium（第3回生命科学国際シンポジウム）”を開催しました。本シンポジウムは、国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラムとして生命科学院が実施する「次世代の生命科学グローバルリーダー養成プログラム」主催の国際シンポジウムで、生命科学院博士後期課程の学生が企画・運営を行いました。

本年度は、今後の日本の生命科学の研究を担う次世代の若手研究者の異文化交流の足掛かりとしてこの会を位置づけ、若手研究者同士のコミュニケーションの場を提供するという目標のも

と、留学生50名を含む129名が参加し、17件の口頭発表及び39件のポスター発表を通して、活発な質疑応答が行われました。

招待講演には、先端生命科学研究院のFayna Garcia Martin助教と電子科学研究所の玉置信之教授を招きました。先生方のこれまでの研究内容に加えて、国際コミュニケーションの秘訣や異なる文化の中で活躍するための助言があり、参加者は熱心に耳を傾けていました。

シンポジウム終了後は、本年度10月入学のプログラム留学生の歓迎会と、優秀な発表に対する3件の優秀口頭発表賞と6件の優秀ポスター発表賞の授

賞式を兼ねた懇親会を中央食堂2階で行いました。参加者は国境を越えて、親睦を深め合い、お互いの研究について語り合いました。

本シンポジウムは、留学生をはじめ日本人学生にとっても、若手研究者が将来的に国際的な場で活躍するための一助となり、将来のますますの発展を手助けするものになったと思います。

開催にあたりご指導・ご協力をいただいた先生方、ご支援をいただいた事務担当者、準備・運営にご協力いただいた留学生、学生に深くお礼申し上げます。

（生命科学院・先端生命科学研究院）



集合写真



招待講演の様子



ポスター発表の様子

国際広報メディア・観光学院で国際ワークショップを開催

国際広報メディア・観光学院では、11月9日（月）午後1時から3時30分まで、メディア・コミュニケーション研究院608室において、国際ワークショップ「観光地における価値の創造をめぐって Creation of Values in Tourist Sites」を実施しました。このワークショップは、「資源の再配分」による資金を活用して実現したものであり、サステナビリティ・ウィークの一環として開催された「北海道大学-

フィンランド・ジョイントシンポジウム」の講師として来学した、フィンランド・ラップランド大学多次元観光研究所長のヨハン・エデル Heim 教授をコメンテーターとしてお招きし、大学院生を中心とした4つの研究発表及びそれに関する質疑応答、総合討議を行いました。地域に基盤をおいた観光の創出の土台となる価値創造のあり方や可能性を共通のテーマとして掲げ、エデル Heim 教授の的確な指導や助言を

得ながら、活発な情報交換と有益な知見共有の場となりました。

また同時に、本学院及び観光学高等研究センターと、ラップランド大学多次元観光研究所との教育研究上の交流の継続・発展を相互的に確認する機会ともなり、その意味においても大変有意義な学術セッションとなりました。

（国際広報メディア・観光学院、メディア・コミュニケーション研究院）



ワークショップの様子

メディア・コミュニケーション研究院公開講座「民衆・記憶・アート」が終了

メディア・コミュニケーション研究院では、平成27年度公開講座「民衆・記憶・アート」を、10月7日から11月4日まで毎週水曜日、全5回にわたり実施しました。

本講座では、芸術作品において、民衆の生活や歴史がいかに表現されてきたのかをテーマに取り上げました。個

人の生や日々の営みに関するものから、所属する社会集団に関するものまで、時代も地域も多様な作品や事例を取り上げながら、多角的に考察してきました。

32名の受講者は、毎回の講義に非常に熱心に出席していました。活発な質疑応答の様子からは、受講者の学び

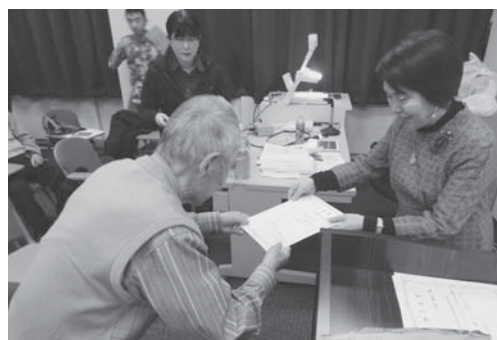
への意欲や関心の高さがうかがえました。

講座の最終日には、担当講師から受講者へ修了証書が手渡され、本講座は盛況のうちに終了しました。

（国際広報メディア・観光学院、メディア・コミュニケーション研究院）



講義風景



修了証書授与

平成27年度低温科学研究所公開講座 「広がる低温の魅力～低温科学の最前線～」を実施

低温科学研究所では、9月28日から11月9日までの毎週月曜日、全6回にわたって、公開講座「広がる低温の魅力～低温科学の最前線～」を実施しました。

今年度は微生物、ナノ粒子などのミクロな視点から、大気環境や地球温暖

化問題などのマクロな視点にわたる広大な低温科学の魅力について各講師が語りました。

実施にあたっては10代から70代までの56名の幅広い層の方々にご参加いただき、また、各回とも受講者からは多くの熱心な質問が寄せられ、盛況のう

ちに終了しました。来年度以降も多くの皆様に楽しんでいただけるよう、より充実した公開講座を目指してまいります。

(低温科学研究所)

講師と講座タイトル

第1回：9月28日

講師：小島 久弥 助教 「微生物と低温の科学」

第2回：10月5日

講師：河村 公隆 特任教授 「大気中の微粒子：PM2.5とその科学」

第3回：10月19日

講師：大島 慶一郎 教授 「氷がつくる海洋大循環」

第4回：10月26日

講師：高林 厚史 助教 「光合成生物の進化と環境適応」

第5回：11月2日

講師：木村 勇気 准教授 「ナノ粒子～小さな結晶の不思議な振る舞い～」

第6回：11月9日

講師：佐崎 元 教授 「ゼロ℃以下の温度でも融けている氷表面の不思議」



講義風景（第2回）



講義風景（第5回）



講義風景（第6回）

観光学高等研究センター公開講座「記憶をめぐる観光論 ～アーカイブ構築とアイデンティティ形成～」を開催

観光学高等研究センターではメディア・コミュニケーション研究院の協力を得て、地域の歴史的遺産を対象に研究活動を行っています。今回の公開講座では、地域に存在する過去の記憶の蓄積施設である民俗資料館や博物館などのアーカイブや、宗教的・祝祭的あるいは大衆的な意味づけによって誕生したモニュメントにスポットライトをあてました。アーカイブ施設による資料の取捨選択（キュレーション）は、地域のアイデンティティに一体どのような作用を及ぼすのか、講師によって異なる7つの視点から考察を深めていく講座を組み立て、10月1日から11月12日の毎週木曜日、全7回にわたって情報教育館3階スタジオ型多目的中講義室で実施しました。

第1回目は、「図書館は地域のタイムカプセル」と題して松本秀人学術研究員が、身近なアーカイブ施設である図書館に注目し、全国の様々な図書館の事例を紹介しながら、本講座全体の概論を講じました。

第2回目は、「偽の記憶が生み出す

観光文化—青森県新郷村のキリストの墓」と題して岡本亮輔准教授が、青森県新郷村に残るキリスト伝説の事例をもとに、伝説から生む観光文化について講じました。

第3回目は、「地域の誇りに裏打ちされたエコツーリズム—岩手県二戸市の宝」と題して真板昭夫特任教授が、岩手県二戸市の事例を取り上げて、地域の誇りがエコツーリズムによる地域興しにどのように作用するかについて講じました。

第4回目は、「風景と記憶 風景から読み解く観光文化」と題して小林英俊特任教授が、風景と記憶をキーワードにして、観光地イメージを上げるといふことの本質について講じました。

第5回目は、「御馳走（ごちそう）～異国の使者の饗応記録をめぐる～」と題して花岡拓郎特任准教授が、古文書や史料から、地域の文化の源流を辿る方法について講じました。

第6回目は、「東南アジアにおける遺跡保存とアイデンティティ」と題し

て田代亜紀子准教授が、東南アジアに残る遺跡が地域のアイデンティティ形成にどのような影響を与えるかについて講じました。

第7回目は、「映画の記憶がもたらす観光現象—フィルム関連アーカイブとの関係性」と題して内田純一准教授が、国家や地域が運営するフィルム関連アーカイブと観光現象との関係について講じました。

本講座は、平成23年度の公開講座「旅の記憶、まちの記憶、出会いの記憶」の続編（実践編）として企画されたこともあり、アーカイブが果たすべき今後の役割や、観光への活用方法について、受講生からも積極的な質問があり、講師との双方向のやりとりから活発な議論が展開された回もありました。

参加率も高く、多くの受講生が修了証書を手にしました。来年度の公開講座もご期待ください。

（観光学高等研究センター）



講義風景



修了証書授与

平成27年度薬学部成績優秀賞授与式を挙行

薬学部では、11月25日（水）に本学部会議室において、平成27年度北海道大学薬学部成績優秀賞授与式を行いました。

この賞は「GPA制度の導入に伴い、学業が優秀な学生を顕彰し、学生の向学心を喚起する」ことを目的として、平成17年度以降に入学した学部3年次生を対象として設けられたもので、今回で9回目の授与式となります。

今年度は、学部専門科目の成績が特に優秀な4名が受賞者に選ばれました。

授与式では、薬学部教員が見守るなか、南 雅文薬学部長から表彰状と記念品が表彰者一人ひとりに授与されました。

今後この賞が本学部学生の向学心をより一層喚起するものとなることを期待しています。



成績優秀者4名と南学部長（中央）

（薬学研究院・薬学部）



表彰状を授与される成績優秀者

薬学研究院・薬学部で「実験動物慰霊祭」を挙行

薬学研究院・薬学部では、11月6日（金）、本研究院並びに本学部の教育と研究のために供された実験動物の慰霊祭を臨床薬学講義室にて執り行い、教員、学生など100名を超える関係者が参列しました。

慰霊祭は、動物実験委員会委員長の鈴木利治教授より実験に供された動物に追悼の辞が述べられ、次いで、参列者全員による黙祷及び献花が行われました。

最後に、鈴木委員長による挨拶があ

り、生命科学及び薬学の教育や研究の発展のために多大な寄与を遂げた動物への諸霊の供養がしめやかに執り行われました。

（薬学研究院・薬学部）



「追悼の辞」を述べる鈴木委員長



献花する学生

歯学研究科で「動物供養祭」を挙

歯学研究科では、11月26日（木）午後4時30分から、学部会議室において、動物供養祭を執り行いました。供養祭は、過去1年間に歯学教育・研究のため実験に供された動物（ラット、マウス計2,135体）への感謝と追悼のために毎年実施しており、教職員、学

生等の動物実験関係者約30人が参列しました。

供養祭では、最初に横山敦郎歯学研究科長から挨拶があり、次いで動物実験委員会委員長の柴田健一郎教授から、歯学研究の進歩に尊い命を捧げてくださった多数の実験動物の御霊の安

らかなることを願う旨の「祭文」が捧げられ、最後に参列者全員により献花が行われました。

（歯学研究科・歯学部）



参列者に挨拶する横山研究科長



「祭文」を読み上げる柴田委員長



献花する参列者

「法科大学院に関するアドバイザーグループ会議」を開催

11月9日（月）に、東京都千代田区の学士会館において、「第14回法科大学院に関するアドバイザーグループ会議」を開催しました。

本会議は、法曹界、産業界、教育界等各界において現在中核を成して活躍されている法学部卒業生の方で構成されており、毎年、法科大学院のみならず、法学研究科全体及び法学部に対して助言をいただいています。

第14回となる今回は、10名の同会議メンバーと、法学研究科から長谷川晃法学研究科長及び小名木明宏法科大学院長が出席しました。

会議では、長谷川法学研究科長及び小名木法科大学院長から本学の近況が報告された後、法科大学院の今後の在り方等について熱の入った活発でかつ

貴重な意見交換及び提言がなされ、盛会のうちに終了しました。

（法学研究科・法学部）



会議の様子

法学研究科・法学部・公共政策大学院で留学生パーティを開催

法学研究科・法学部・公共政策大学院では、11月12日（木）午後6時から、外国人留学生とサポーター・チューター学生や交換留学経験者、関係教職員を対象として、「留学生パーティ」を開催しました。

全学的にも外国人留学生の入学者は年々増加していますが、現在、法学研究科・法学部では、公共政策大学院を

含め85名の外国人留学生が在籍しています。本パーティは、今年度新たに入学した留学生に早く大学生活に慣れてもらうこと、苦勞を抱えながら勉学に励んでいる在学生の状況を知ってもらうこと、及び学生間の交流を広げてもらうことを目的として開催しました。

当日は、外国人留学生、日本人学生及び関係教職員ら約50名が出席し、留

学生と留学経験のある日本人学生が司会を務めました。パーティーは長谷川晃法学研究科長の挨拶で始まり、参加者は自己紹介やビンゴゲームなどを通じて大いに楽しみ、互いに親交を深めました。

（法学研究科・法学部）



集合写真



交流の様子

環境科学院でFD「ポートフォリオ講習会」を開催

環境科学院では、11月5日（木）にD101会議室においてFD「ポートフォリオ講習会」を開催し、教職員22名の参加がありました。

ポートフォリオとは、学生と教員との双方向コミュニケーションを促進するためのウェブシステムであり、今後本学での導入が予定されていますが、講習会は、このポートフォリオへの理解を深めることを目的として開催した

ものです。

講習会では、高等教育推進機構の島村道代特任准教授によるポートフォリオの機能紹介や、地球環境科学研究所の山中康裕教授によるポートフォリオを用いた取り組み例の紹介が行われ、その後、参加者全員による「学生と教員との双方向コミュニケーションをよりよくする方法」をテーマとした情報交換が行われました。

情報交換では、ポートフォリオに関する内容のみならず、教育システム、学生とのコミュニケーション方法等、多岐にわたる事項について多くの参加者から活発な意見が出され、充実した講習会となりました。

（環境科学院・地球環境科学研究所）



講演する島村特任准教授



講演する山中教授

農学研究院で平成27年度第1回FD研修会を開催

農学研究院では、11月27日（金）午後3時30分から農学部W109講義室にて、保健センターのカウンセラー武田弘子氏を招き、平成27年度第1回FD研修会「学生自殺予防のための講習会『MENTAL HEALTH FIRST AIDによる『うつ病・自殺』』」を開催しました。受講生として教員17名が参加しました。

冒頭の挨拶では、横田篤研究院長が、大学におけるFD研修会の重要性、特に、教職員の学生のメンタルヘルスに対する知識向上の必要性について強調しました。講演では、まず日本の大学生と北大生の自殺の現状とカウンセリングの受診状況などの説明がありました。残念ながら北大生の自殺は毎年ありますが、自殺既遂者のうち保健センターを利用していた学生の割合は4分の1程度と低いこと、保健センターを受診した学生にはすべて精神疾患がみられ、その半数はうつ病であったことが紹介されました。武田氏はメンタルヘルス問題の早期発見と適切な

対応が重要であると強調し、この問題に対する本学の対応を説明しました。現在は、新入生と各課程最終学年生を対象にメンタルヘルスチェックを実施し、問題の把握に努めているとのことでした。その後、うつ病と自殺、メンタルヘルスの予防対策、大学生の不登校問題、統合失調症と躁うつ病、病態の主な兆候などについて説明がありました。学生のメンタルヘルス問題については、本人と教員、医療関係者、さらに両親の協力が必要で、特に両親の認識と協力が重要であることが強調されました。最後に、学生のメンタルヘルス問題に対する現在の本学と保健センターの対応の紹介があり、従来保健センターへの受診を待っていたという対応から、積極的に問題発見に努めるという方針が変わったことが紹介されました。講演では、学生がメンタルヘルス上の問題を抱えている場合、両親-教員-医療関係（保健センター）間の密接な意思疎通と情報共有が大事であることが一貫して強調されていま

た。講演内容は多岐にわたり、大変興味深い重要な内容であったと感じられました。

講演後、活発な質疑応答が行われ、学生のメンタルヘルス問題の兆候をどう判断すればよいか、また新入生や最終学年生のメンタルヘルスチェックの結果を共有できないかなど、学部生、大学院生に日常的に接している教員の立場からの質問、提案がありました。短い質疑応答では、簡単に解決できるような事柄はありませんでしたが、講演内容は参考になるものであり、また、教員が学生の学習態度や日常生活態度に常に気を払う必要があることが十分に理解できる内容であったと感じられました。

第1回FD研修会で講演いただいた武田氏、並びに保健センターにはここに改めて深く感謝申し上げます。

（農学院・農学研究院・農学部）



保健センター 武田氏



横田農学研究院長



参加者の様子



講演の様子

北方生物圏フィールド科学センター和歌山研究林で 業務体験セミナーを開催

北方生物圏フィールド科学センター和歌山研究林では、設立90周年を迎えた今年、様々な記念事業を行っています。その一つとして、10月10日（土）～12日（月・祝）に、一般市民を対象とした業務体験セミナーを開催しました。なかなか接することのない大学研究林の技術職員が日常的に行っている業務について、一般の方々に理解を深

めてもらうことが目的です。国の登録有形文化財（建造物）となっている和歌山研究林の建物に宿泊しながら、3日間にわたって行われたこのセミナーには6名が参加しました（うち1名は大学生）。

大学研究林の役割や技術職員の業務に関する講義のあと、参加者は実際に技術職員が携わっている研究業務（植

生調査・野生動物調査）・教育業務（製炭・木工）・フィールド管理業務（道路整備・伐採）について体験しました。参加者から好評を得たので、来年度以降も業務体験セミナーを開催することを検討しています。

（北方生物圏フィールド科学センター）



モノレールでの移動



シカ生息密度調査



炭窯の前での製炭行程の解説

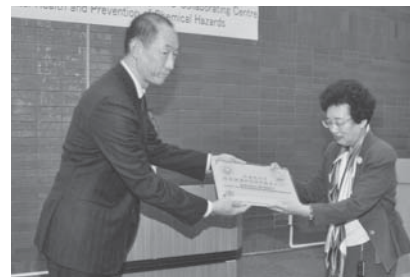


林道整備作業

環境健康科学研究教育センターが世界保健機関（WHO）の研究協力機関認証式と指定記念講演を開催



WHOCC認証式記念撮影



葛西氏からWHOCC認証プレートを授与される岸特別招へい教授（右）

環境健康科学研究教育センターは、本年4月に世界保健機関（WHO）の研究協力機関WHO Collaborating Centre（WHOCC）for Environmental Health and Prevention of Chemical Hazards（化学物質曝露によるハザードや健康障害予防）に指定されました。これを受け、WHO西太平洋地域事務局（WPRO）より、Director Programme Managementの葛西 健氏と環境保健分野Regional CoordinatorのNasir Bin Hassan氏を招へいし、11月16日（月）にWHOCC認証式を開催しました。

認証式では、葛西氏より、環境健康科学研究教育センターの岸 玲子特別招へい教授に認証プレートが手渡されました。また、山口佳三総長の挨拶に続いて、厚生労働省、環境省、北海

道保健福祉部、札幌市保健福祉局、北海道厚生局の方々より祝辞をいただきました。

また、認証式に引き続き、指定記念講演として「環境化学物質のハザードと人の健康障害の予防」をテーマに、サステナビリティ・ウィーク2015国際シンポジウムを開催しました。国際シンポジウムでは、まずWHO WPROの葛西氏が「急速に変化する世界におけるWHOとWHO研究協力センターの役割」、Hassan氏が「西太平洋地域における環境衛生—その問題と課題、今後の方向性」と題して、WHO西太平洋事務局における環境と健康の課題、化学物質による健康障害とその予防についての現状を講演されました。続いて、当センターの岸特別招へい教授より「グ

ローバルな視点で環境化学物質による健康障害の予防を考える：WHOCCの活動に向けて」と題して、今後の活動において、グローバル・パブリックヘルスを向上させる視点で、より一層アジア各国と協力して、環境化学物質による健康障害の予防のためのアプローチを推進していくことについての講演がありました。最後に、獣医学研究科の石塚真由美教授が「アフリカにおける環境汚染の現状」と題し、途上国では今何が起きているのかを話しました。

一般市民や学生も多く参加し、盛況のうちに閉会となりました。

（環境健康科学研究教育センター）

「脳科学研究教育センター合宿研修」の開催



参加者の集合写真

11月7日（土）・8日（日）に、北広島クラッセホテルで脳科学研究教育センターの合宿研修を行いました。一昨年度から、多くの関係者が参加しやすいように札幌近郊で開催しています。

研修には、吉岡充弘センター長をはじめ、文学、教育学、理学、生命科学、医学、保健科学の各研究科・研究院・学部属する教員14名、大学院生16名、学部生5名、事務職員2名の合計37名が参加しました。2日間の研修では、口頭による大学院生の研究発表（研修Ⅰ～Ⅲ）、若手教員や基幹教員の講演（研修Ⅳ・Ⅵ・Ⅶ）、センター長講話（研修Ⅴ）を行いました。大学院生の発表では、ようやく研究が本格

化し始めたばかりの修士課程1年生だけでなく、昨年も合宿に参加した修士課程2年生や博士課程の履修生の研究成果を見聞することができ、昨年と比べて研究内容が深化していく様子を感じることができました。発表会では大変活発な質疑応答があり、各発表とも予定時間を超えて議論が続きました。また、吉岡センター長からは、「科学者をめざす君たちへ」というタイトルの講話があり、昨今問題になっている科学者のモラルや責務をはじめ、研究成果の配分や特許に至るまで、研究者として知っておくべき様々な事項について話がありました。これらの研修を通して脳科学研究への理解

を深めると同時に、深夜におよぶ懇親会も含め、部局を超えた学生と教員の間の実質的な交流を行いました。

この合宿研修は、とかく所属研究室の研究テーマや研究手法に偏りがちな大学院教育を、その垣根を越えて融合させることを目指す本センターの最も重要な活動の一つです。一昨年から試行している本専攻の修了生と学部生の参加や札幌近郊のリゾートホテルでの開催も大変好評で、来年度もより多くの関係者の参加を期待しています。

（脳科学研究教育センター）



研修会の様子



質疑応答の様子



懇親会の様子

防災訓練等の実施

北海道大学病院

北海道大学病院では、11月11日（水）午後2時より、地震の発生及びこれに伴う病棟6階西側洗濯室からの出火という想定で、総合防災訓練を実施しました。

今回の訓練は地震発生放送で始まり、迅速な自衛消防組織本部及び地区隊の編成、またエレベーターに閉じ込められた人への対処などの訓練を行い

ました。

火災発生アナウンスがされると、出火病棟の地区隊が初期消火や避難誘導にあたり、また自衛消防隊各班も、救護所の設置や消火の応援、危険物の管理、重要物品の搬出など、各々の役割に基づいて行動しました。

訓練終了後には、北消防署の担当官から「北大病院は基幹病院であり、地

震災害時には市民のために活動しなければならない。そのためには、初期の段階で自分たちの身の安全を図ることが重要」との講評がありました。

また今回は救助袋を使用した避難体験も併せて実施し、高層階に取り残された際の避難方法を確認しました。

（北海道大学病院）



消火訓練の様子



救助袋を用いた避難体験

附属図書館

附属図書館本館では、11月19日（木）午前11時に北棟5階マイクロ資料室から出火したとの想定のもと、図書館利用者及び職員89名が参加して防災訓練を実施しました。

英語による館内放送並びに掲示も行い、火災発生後、直ちに「通報連絡係、

避難誘導係、消火係、防護措置係、救護係」の自衛消防隊の各担当に分かれ、現場の確認、消防署への通報、非常放送、避難誘導、消火活動等、実践さながらの訓練が行われました。

防災訓練に続いて防災設備業者指導のもと、避難器具の取扱説明及び実地

訓練を実施し、使用方法についてより一層の理解を深め、一連の訓練を無事に終了しました。

（附属図書館）



消火に向かう職員



緩降機訓練をする職員

物質科学リーディングプログラムが第3回国際シンポジウムを開催



フロンティア応用科学研究棟鈴木章ホールでの記念撮影

物質科学フロンティアを開拓する Ambitiousリーダー育成プログラム (ALP) *1では、11月18日(水)・19日(木)に第3回国際シンポジウムを開催しました。フロンティア応用科学研究棟鈴木章ホールで開催したシンポジウムに加え、定山溪ビューホテルでのポスターセッションやワークショップも併催し、海外の研究者とのディスカッションを通じて英語を“使う”能力の向上に取り組みました。講演を聴くだけになりがちな通常の国際シンポジウムとは違い、本シンポジウムではポスターセッションやワークショップなどにおける英語での対話・議論を通じて実践的な英語能力を高めることにも注力しました。また今期は、第1回、第2回のシンポジウムを経験したプログラム1期生が主体となり、企画・運営が行われました。

初日の国際シンポジウムでは134名余が参加し、石森浩一郎コーディネーターの冒頭挨拶に続き、ペンシルベニア州立大学のLjubisa R. Radovic教授、デルフト工科大学のFreek Kapteijn教授、ブルゴーニュ大学のPatrick Senet教授、テキサス大学のAdrian Keatinge-Clay教授が世界最先端の研究を伝えました。本学からは福岡 淳教授、忠永清治教授、居城邦治教授、谷野圭持教授が講演しました。講演では最新の研究成果ばかりではなく、大学院生へのメッセージやアドバイスなど、大学院教育を主眼とした本シンポジウムならではの内容もありました。

夕方からは定山溪ビューホテルに移動し、ポスターセッションとワークショップを開催しました。海外からの大学院生とプログラム生がポスター発表を行い、夜遅くまで活発な議論を展開しました。今回からポスター賞が導入され、最優秀賞をXiaohui Sunさん(デルフト工科大学)が、優秀賞をPaul Grasseinさん(ブルゴーニュ大学)、西谷雄大さん(総合化学院)が受賞しました。翌朝からはPBL型ワークショップを開き、プログラム生と海外からの大学院生が混合で少人数グループを作り、英語でのディスカッションを行いました。今回はTED Talks*2を題材とし、Marc Abrahams「笑わせ、そして考えさせる科学賞」、Elon Musk「テスラモーターズ、SpaceX、ソーラーシティの夢」をビデオ鑑賞した後、研究に対する姿勢「イノベーションを起こすためには何が必要か?」をテーマにグループディスカッションを行いました。どのグループでも終始和やかかつ熱気に満ち溢れた議論がなされました。投票により“Pathway to Innovation”と題して発表を行ったグループ*3がベストプレゼンテーション賞を受賞し、イグノーベル賞にあやかった副賞を授与されました。

本シンポジウムを介してプログラム生は、事前の企画・運営から期間中の海外の研究者・学生サポートまで、物質科学の専門力の深化に留まらず、グローバルリーダーたる素養を獲得するための貴重な経験を積むことができま



ポスターセッションの様子



ワークショップの様子

した。本プログラムではこれからも、新たな発想による効果的な大学院教育プログラムの開発を進めていきます。

*1 物質科学フロンティアを開拓する Ambitiousリーダー育成プログラム (ALP)

総合化学院総合化学専攻、生命科学院生命科学専攻、環境科学院環境物質科学専攻、理学院数学専攻、工学院量子理工学専攻に所属する大学院生を対象とする5年一貫の大学院教育プログラム。

*2 TED Talks

非営利団体TED (Technology Entertainment Design) が価値のあるアイデアを広めようと、学術・エンターテインメント・デザインなど様々な分野の第一線で活躍する人物を講師として招き、定期的で開催したカンファレンスの模様を、動画アーカイブとしてインターネットを通じて全世界に無料で配信するプロジェクト。

*3 グループメンバー

Ina Vollmerさん(デルフト工科大学)、南多娟さん(総合化学院)、榊 祥太さん(工学院)、Drew T. Wagnerさん(テキサス大学)、岡本 守さん(理学院)、山本悠大さん(総合化学院)

(理学院・理学研究院・理学部)

■ 諸会議の開催状況

役員会（平成27年11月9日）

- 議案・クロスアポイントメントの適用について
協議事項・全学運用教員の措置について
報告事項・平成26年度に係る業務の実績に関する評価の結果について
- ・平成27年度夏季の節電対策の結果について
 - ・平成27年度資金の運用状況について（上半期）
 - ・平成28年度概算要求（機能強化促進分）について
 - ・財務レポート2015について
-

教育研究評議会（平成27年11月17日）

- 報告事項・平成26年度に係る業務の実績に関する評価の結果について
- ・平成27年度産学官連携活動における利益相反マネジメントの実施について
 - ・共同利用・共同研究拠点の認定結果等について
 - ・平成28年度概算要求（機能強化促進分）について
 - ・学生の懲戒について
-

役員会（平成27年11月25日）

- 議案・第3期中期目標期間における部局等の中期計画の作成方針について
- ・平成28年度年度計画の作成方針について
- 報告事項・平成27年度中間決算について
-

※規程の制定、改廃については、「学内規程」欄に掲載しております。

■ 学内規程

国立大学法人北海道大学特定認定再生医療等委員会規程

（平成27年11月9日海大達第265号）

本学に、再生医療等の安全性の確保等に関する法律第26条に基づく審査等業務を行うため、特定認定再生医療等委員会を置くことに伴い、所要の定めを行ったものです。

北海道大学北極域研究センター規程の一部を改正する規程

（平成27年11月17日海大達第266号）

センター長及び副センター長の任命要件を改めることに伴い、所要の改正を行ったものです。

国立大学法人北海道大学オープンファシリティ使用規程の一部を改正する規程

（平成27年12月1日海大達第267号）

本学のオープンファシリティについて、設備の追加を行うことに伴い、所要の改正を行ったものです。

■ 研修

平成27年度北海道地区国立大学法人等事務情報化講習会（Access研修 初級編・クエリ編）

開催期間：初級編：（第1回）平成27年6月23日・24日，（第2回）平成27年10月21日・22日

クエリ編：平成27年11月17日～19日

開催場所：情報基盤センター

研修目的：業務システムのデータをAccessを利用して活用するための知識，基本的な情報セキュリティ等の知識を習得する。



初級編



クエリ編

（情報環境推進本部情報推進課）

平成27年度北海道地区国立大学法人等アドビフォトショップ／イラストレータ研修

開催期間：第1回：平成27年6月29日・30日，第2回：平成27年10月19日・20日

開催場所：情報基盤センター

研修目的：アドビフォトショップ／イラストレータの基本操作の実習を通して，既存データの編集，簡単な図形を組み合わせたイラスト作成など，業務上使用する上で必要となる基礎知識を習得する。



フォトショップ



イラストレータ

（情報環境推進本部情報推進課）

平成27年度国立大学法人北海道大学簿記研修

開催期間：平成27年10月9日～11月6日

開催場所：TAC株式会社札幌校

研修目的：会計事務に従事する職員に、会計事務の基礎である国立大学法人会計基準、同注解及び実務指針を理解する上で必要となる複式簿記の基本知識を付与し、日商簿記3級資格を取得させることを目的とする。



資格学校による講義



受講の様子

(財務部主計課)

平成27年度北海道地区国立大学法人等会計事務研修（上級）

開催期間：平成27年11月4日・5日

開催場所：百年記念会館大会議室

研修目的：北海道地区国立大学法人等の会計事務に従事する係長級の職員に、国立大学法人等において会計事務の管理運営を担う職員としての心構えや意識の涵養を促すとともに、職務遂行に資する知識を付与することを目的とする。



財務部長挨拶



受講の様子



財務管理室長による講義



コンサルティング会社によるグループワーク

(財務部主計課)

平成27年度北海道大学教務事務実務研修

開催期間：平成27年11月19日・20日

開催場所：高等教育推進機構大会議室

研修目的：大学の教務事務は複雑多岐にわたることから、担当職員に教務事務の円滑な処理に必要な知識及び教務系職員の基礎知識を習得させるとともに、教務事務について協議・意見交換を行うことにより、教務事務に携わる職員の意識及び資質の向上を図ることを目的とする。



開講式で挨拶する徳久治彦理事・事務局長



グループ討議の様子（事例研究）

（学務部学務企画課・教育推進課）

平成27年度北海道地区国立大学法人等会計基準研修

開催期間：平成27年12月2日～4日

開催場所：百年記念会館大会議室

研修目的：北海道地区国立大学法人等の会計事務に従事し、複式簿記の基礎的知識を有する職員に、国立大学法人（独立行政法人）会計基準、同注解及び実務指針に係る知識を習得させることを目的とする。



監査法人による講義



講義内的小テストの様子

（財務部主計課）

■表敬訪問

海外

年月日	来訪者	来訪目的
27.11.10	Katheryn Hamilton 氏 (札幌農学校第3代教頭 David Pearce Penhallow先生の御曾孫)	Penhallow先生に関する情報収集
27.11.16	ナイジェリア大学 Edwin Mbadiwe Igbokwe 副学長	両大学の交流に関する懇談
27.11.30	駐日フィンランド大使館 Markus Kokko 報道・文化担当参事官	両国の交流に関する懇談及び就任の挨拶



Katheryn Hamilton 氏 (札幌農学校第3代教頭 David Pearce Penhallow先生の御曾孫) (中央)



ナイジェリア大学 Edwin Mbadiwe Igbokwe 副学長 (右側)



駐日フィンランド大使館 Markus Kokko 報道・文化担当参事官 (右から2人目)

(国際本部国際連携課)

■人事

平成27年11月30日付発令

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
【技術職員等】 (辞職)	荒 川 隆 亮	水産学部附属練習船うしお丸機関員

平成27年12月1日付発令

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
【教授】 大学院農学研究院教授 大学院工学研究院教授	久 保 友 彦 松 本 高 志	大学院農学研究院准教授 大学院工学研究院准教授
【准教授】 大学院歯学研究科准教授 大学院工学研究院准教授	亀 倉 更 人 寺 島 洋 史	北海道大学病院講師 採用
【講師】 北海道大学病院講師	木 村 幸 文	北海道大学病院助教
【助教】 大学院農学研究院助教 大学院工学研究院助教 大学院工学研究院助教 大学院工学研究院助教 北海道大学病院助教 触媒科学研究所助教 北極域研究センター助教 国際本部助教	唄 花 子 佐 藤 昌 宏 鄭 好 百合野 大 雅 長 谷 由 理 鳥屋尾 隆 PODOLSKIY EVGENY 周 睿 風	採用 採用 採用 採用 大学院歯学研究科助教 採用 採用 採用
【専門職 (学術)】 国際本部学術主任専門職	武 村 理 雪	国際本部講師

新任教授紹介

平成27年12月1日付



農学研究院教授に

くほ ともひこ
久保 友彦 氏

基盤研究部門応用生命科学分野

生年月日

昭和41年 4月21日

最終学歴

北海道大学大学院農学研究科博士後期課程修了 (平成6年3月)
農学博士 (北海道大学)

専門分野

植物分子育種学



工学研究院教授に

まつもと たかし
松本 高志 氏

北方圏環境政策工学部門
寒冷地建設工学分野

生年月日

昭和44年 1月19日

最終学歴

ミシガン大学大学院土木環境工学科博士課程修了 (平成10年5月)
Ph. D (土木工学) (ミシガン大学)

専門分野

橋梁工学, 鋼・複合構造, 維持管理, 地震工学

訃報

名誉教授 かつい よしお 勝井 義雄 氏
(享年90歳)



名誉教授 勝井義雄氏は、平成27年10月20日に逝去されました。ここに生前のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

先生は、大正15年9月30日北海道空知郡岩見沢町に生まれ、昭和25年3月に北海道大学理学部地質学鉱物学科を卒業し、同月北海道大学理学部文部教官に任ぜられ、助手、講師、助教授を経て、同47年12月理学部地質学鉱物学科教授に昇任され、以来約18年間、同学科岩石学講座を担当されました。平

成2年3月停年退官、同年4月北海道大学名誉教授となり、引き続き同11年3月まで札幌学院大学教授として教育研究に専念されました。

先生は、昭和24年の雌阿寒岳火山の卒業研究以来、一貫して北海道をはじめ世界各地の火山の研究を続け、これら火山の地質・構造・形成史の研究、火山噴出物の岩石学的性質とマグマの成因に関する研究、さらに火山噴火及び噴火災害予測の研究について、多くの優れた業績をあげられました。

教育現場における学部生及び大学院生の教育・研究指導は勿論のこと、火山地質学の専門家として北海道防災会議専門委員、火山噴火予知連絡会委員を務めるなど、一般社会に対する助言・指導にもご尽力されました。また、日本火山学会評議員、日本岩石鉱物鉱床学会評議員、日本火山学会会長を務め、この間国際火山学会議を日本で開催し、多大な成果を収められまし

た。さらに、日本学術会議地球物理学研究連絡委員、同火山学研究連絡委員を歴任し、主に火山学に関する国内外の研究連絡に貢献されました。

また、社会的にも火山研究の成果を防災対策に還元されたことが高く評価され、平成2年北海道科学技術賞、同3年国土庁長官表彰（防災功績者）、同10年北海道功労賞を受賞され、また同19年には瑞宝中綬章を受章されました。

以上のように、先生は火山噴火やマグマの成因などの火山学分野の研究における優れた業績により、学部・大学院教育での功績のみならず、火山噴火の予知と防災に係る社会的功績も含め、火山学の発展に大いに貢献されました。

ここに謹んで先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

(理学院・理学研究院・理学部)

資料

平成27年度外国人留学生数（「留学」以外の在留資格の者を含む）

◆部局別

学部等

平成27年11月1日現在

部 局 名	国 費		外国政府派遣		私 費		合 計
	学士課程	研究生等	学士課程	研究生等	学士課程	研究生等	
文 学 部	1(1)	2(1)				121(87)	124(89)
教 育 学 部	1(1)				3(2)	24(20)	28(23)
法 学 部				2(2)		10(7)	12(9)
経 済 学 部	1(1)	2(2)				31(23)	34(26)
理 学 部					7(5)	12(3)	19(8)
医 学 部					1(1)	4(1)	5(2)
工 学 部	27(3)		4(2)	1	12(2)	37(7)	81(14)
農 学 部	2(1)		1		1	9(6)	13(7)
獣 医 学 部					1(1)	20(16)	21(17)
水 産 学 部					5(2)	11(8)	16(10)
高等教育推進機構総合教育部	9(3)		2		25(15)		36(18)
合 計	41(10)	4(3)	7(2)	3(2)	55(28)	279(178)	389(223)

大学院等

部 局 名	国 費				外国政府派遣				私 費				合 計
	修士課程	専門職学位課程	博士課程	研究生等	修士課程	専門職学位課程	博士課程	研究生等	修士課程	専門職学位課程	博士課程	研究生等	
文 学 研 究 科	4		10(3)	5(1)	1(1)		10(8)		68(51)		41(27)	25(18)	164(109)
法 学 研 究 科							4(1)		17(10)		18(6)	23(15)	62(32)
経 済 学 研 究 科	4(1)		1				1(1)		47(33)	2	4(3)	3(2)	62(40)
医 学 研 究 科			4(2)	1(1)			3(1)		5(5)		15(8)	2(1)	30(18)
歯 学 研 究 科			1(1)								5	1	7(1)
獣 医 学 研 究 科			26(13)				3(2)				18(10)	2(1)	49(26)
情 報 科 学 研 究 科	2(1)		12(3)	1(1)	2(1)		8(2)		32(7)		22(5)	20(2)	99(22)
水 産 科 学 研 究 院			6(3)				4(2)		14(8)		10(3)	7(5)	41(21)
環 境 科 学 研 究 院	11(5)		15(9)		1		4(1)		56(28)		39(19)	9(7)	135(69)
地 球 環 境 科 学 研 究 院				1(1)								33(21)	34(22)
理 学 研 究 院	7(3)		11(2)						15(6)		16(5)	1	50(16)
農 学 研 究 院	12(7)		30(13)				9(2)		17(8)		31(15)	6(2)	105(47)
農 学 研 究 院				4(1)								9(5)	14(6)
生 命 科 学 研 究 院	4(2)		31(12)				5(3)		7(5)		16(4)	2(2)	65(28)
教 育 学 研 究 院	1(1)		2(2)				2(1)		30(26)		5(2)	2(1)	42(33)
教 育 学 研 究 院				1(1)								1(1)	2(2)
国際広報メディア・観光学院	2(1)		5(4)				2(1)		56(46)		7(4)		72(56)
メディア・コミュニケーション研究院				1(1)								22(20)	24(21)
保 健 科 学 研 究 院	1(1)		1				1		3(3)		2(1)		8(5)
保 健 科 学 研 究 院												5(5)	5(5)
工 学 研 究 院	29(9)		37(10)		1		12(1)	2	31(7)		27(5)	25(10)	164(42)
工 学 研 究 院				2(1)								23(3)	27(4)
工 学 研 究 院											1		1
総 合 化 学 研 究 院	1(1)		18(9)		1		2	1	9(3)		25(13)		57(26)
公 共 政 策 学 教 育 部											12(9)		12(9)
公 共 政 策 学 連 携 研 究 部												7(5)	7(5)
低 温 科 学 研 究 所				2(2)									2(2)
電 子 科 学 研 究 所				1				1				1(1)	3(1)
触 媒 科 学 研 究 所								2(1)					2(1)
情 報 基 盤 セ ン タ ー												1	1
北方生物圏フィールド科学センター				1(1)								1(1)	2(2)
観 光 学 高 等 研 究 セ ン タ ー				1									1
国 際 本 部 留 学 生 セ ン タ ー												3(2)	3(2)
高 等 教 育 推 進 機 構												1	1
合 計	78(32)		210(86)	25(12)	6(2)		70(26)	12(1)	407(246)	14(9)	302(130)	239(131)	1,363(675)

日本語研修生等

国 際 本 部 留 学 生 セ ン タ ー	日 本 語 ・ 日 本 文 化 研 修 生		日 本 語 研 修 生		合 計
	国 費	私 費	国 費	私 費	
	30(25)	21(16)	9(2)	19(16)	79(59)

外国人留学生及び外国人学生総数

学部留学生数	大 学 院 留 学 生			研 究 生 等	日 本 語 研 修 生 日 本 語 ・ 日 本 文 化 研 修 生	留 学 生 総 数	外 国 人 学 生 〔「留学」以外〕	留 学 生 及 び 外 国 人 学 生 総 計
	修 士 課 程	専 門 職 学 位 課 程	博 士 課 程					
103(40)	491(280)	14(9)	582(242)	562(327)	79(59)	1,831(957)	44(15)	1,875(972)

- * ()内は女子を内数で示す。
- * 修士課程には博士前期課程を、博士課程には博士後期課程を含む。
- * 研究生等には特別研究学生及び特別聴講学生を含む。

(国際本部国際教務課)

北大時報掲載記事事項別一覧（平成27年掲載分）

表紙

- 1月号 ・大学入試センター試験（2015.1.17・18）
- 2月号 ・恵迪寮同窓会「新年寮歌歌始めの会」
- 3月号 ・一般入試前期日程の合格発表（2015.3.7）
- 4月号 ・「大学の世界展開力強化事業」採択事業
- 5月号 ・フード&メディカルイノベーション（FMI）国際拠点
- 6月号 ・北海道大学ユニバーシティプロフェッサー称号授与式
- 7月号 ・札幌農学校第二農場
- 8月号 ・ESDキャンパスアジア・プログラム2015事前学習
- 9月号 ・ESDキャンパスアジア・プログラム2015
- 10月号 ・北海道大学ホームカミングデー2015「歓迎式典・記念講演会」
- 11月号 ・新渡戸カレッジ10月学内合宿
- 12月号 ・北方生物圏フィールド科学センター和歌山研究林業務体験セミナー

裏表紙

- 1月号 ・北の鉄道風景（22）夕暮れの秘境駅
- 2月号 ・北の鉄道風景（23）雪を蹴る
- 3月号 ・北の鉄道風景（24）去り行く寝台列車
- 4月号 ・北の鉄道風景（25）車窓に映る夕日
- 5月号 ・北の鉄道風景（26）春紅葉
- 6月号 ・北の鉄道風景（27）初夏の湿原を駆ける
- 7月号 ・北の鉄道風景（28）線路沿いのサイクリングロード
- 8月号 ・北の鉄道風景（29）晩夏の花畑にて
- 9月号 ・北の鉄道風景（30）移ろいゆく季節の中で
- 10月号 ・北の鉄道風景（31）錦秋の稲穂峠
- 11月号 ・北の鉄道風景（32）去り行くブルートレイン
- 12月号 ・北の鉄道風景（33）冬の鉄路を護る

総長告辞等

- 1月号 ・年頭の挨拶
- 4月号 ・告辞（学士学位記授与式、入学式）

役員便り

- 2月号 ・男女共同参画と女性研究者支援の推進を目指して
- 3月号 ・新渡戸カレッジの創設とその推進を目指して
- 5月号 ・認証評価について
- 6月号 ・国際連携研究教育局（GI-CoRE）を核とする研究・教育体制の改革について
- 7月号 ・「提案し、行動する」事務職員を目指して（事務職員の能力開発）
- 8月号 ・大学院生に対する教育研修について
- 9月号 ・Hokkaidoサマー・インスティテュートと海外ラーニング・サテライト
- 10月号 ・第3期中期目標期間に向けて
- 11月号 ・監事業務と大学改革
- 12月号 ・北大フロンティア基金を育てましょう

全学ニュース

- 1月号 ・大学入試センター試験の実施
- ・第17回北海道大学・ソウル大学 ジョイントシンポジウムを開催
 - ・分科会1：The 10th year commemorative workshop on mechanical and aerospace engineering
 - ・分科会2：Frontiers in Chemical Sciences 2014 @ SNU & HU
 - ・分科会3：Toward understanding of our environment
 - ・分科会4：Frontiers in Pharmaceutical Sciences and Nanotechnologies
 - ・分科会5：Teaching and learning support strategies in the era of globalization
 - ・分科会6：How individual liberty / liberalism theory and community / communitarianism meet together in Europe and East Asia
 - ・分科会7：Production, Function and Safety of Food
 - ・分科会8：The 3rd HU-SNU Joint Symposium on Materials Science and Engineering
 - ・分科会9：The 10th HU and SNU Symposium on Mathematics – Recent progress on theory of probability and partial differential equations –

- ・分科会10 : Advanced research for prevalent infectious diseases
 - ・分科会11 : Endocrine disruptors and health effects among susceptible population
 - ・分科会12 : Global Cooperation Between Universities
 - ・分科会13 : The 9 th Japan-Korea International Symposium in Ophthalmology
 - ・分科会14 : The 2 nd seminar on Renewable energy and Indoor Air Environment for Comfort and Energy Conservation in Buildings
 - ・分科会15 : NTNU-HU-SNU Joint Symposium on Science Education
Science Education in Various Contexts: The Next Generation
 - ・分科会16 : 2 nd HUH-SNUH Joint Symposium
 - ・分科会17 : Where Did Ukrain Come From? Where Is Ukrain Heading For?
 - ・分科会18 : 4 th Joint Symposium on Public Health and Sustainability
 - ・サステナビリティ・ウィーク2014の開催
 - ・学術成果のオープンアクセスとHUSCAP
 - ・留学希望者向けセミナー SD on Campus: Invitation to Study Abroad Program
 - ・市民公開シンポジウム「都市でも農的生活－植物の面白さと豊かな生活」
 - ・サステナブルキャンパス国際シンポジウム2014
 - ・新しい農業生産のやり方 ―エコロジー農業の日仏交流―
 - ・日露共同で行う教育プログラム開発プログラム－極東・北極圏における持続的発展を未来につなぐ－
 - ・先住民文化遺産とツーリズム 文化的景観と先住民遺産をめぐる諸問題
 - ・北大フロンティア基金
 - ・「北海道地区FD・SD推進協議会」総会を開催
 - ・「平成26年度冬山登山講習会」を開催
 - ・「知的財産セミナー」を札幌キャンパス及び函館キャンパスで開催
 - ・COI-T「食と健康の達人」拠点フォーラム／第5回COI-Tプログラム「『食と健康の達人』拠点」参画機関会議を開催
 - ・鮮度保持技術シンポジウムを開催
 - ・人材育成本部上級人材育成ステーションS-cubicで第24回「赤い糸会&緑の会」を開催
- 2月号**
- ・北海道大学交流デー（ドイツ プレーメン大学）を開催
 - ・インド マイソール大学と大学間交流協定を締結
 - ・北大生をグローバルに活躍する気にさせるセミナーを開催
 - ・北海道大学一般入試の志願状況
 - ・AO入試合格者の発表
 - ・第10回九州大学・北海道大学合同活動報告会を開催
 - ・平成26年度補正予算（第1号）案等（本学関係分）の主要事項
 - ・平成27年度予算案（本学関係分）の主要事項
 - ・北大フロンティア基金
 - ・第9回「食と健康」研究会を開催
 - ・第2回オープンファシリテシヨウム・第1回設備サポートセンター整備事業シンポジウムを開催
 - ・北海道大学－高エネルギー加速器研究機構（KEK）第5回連携協議会及び第6回連携シンポジウムを開催
 - ・第34回 創成科学サロン「2015年 初夢を語る」を開催
 - ・保健センターで健康キャンパス北大「アレルギー対策とAED講習」を開催
- 3月号**
- ・キャロライン・プービエ・ケネディ駐日米国大使が本学を訪問
 - ・本学職員表彰を実施
 - ・「総長主催記者懇談会」を開催
 - ・北海道大学一般入試（前期日程・後期日程）及び私費外国人留学生入試の実施と合格者の発表
 - ・平成26年度外国人留学生歓迎・送別懇談会を開催
 - ・留学生センター日本語研修コース修了式（2014年10月入学者）
 - ・現代日本学プログラム課程創設記念講演会を開催
 - ・平成26年北大ペンハロー賞授与式を挙げる
 - ・平成26年度「北海道大学TF研修会」を開催
 - ・新渡戸スクール国際シンポジウム「大学院教育改革－専門性と+αをいかに学生に獲得させるか－」を開催
 - ・北大フロンティア基金
 - ・COI-T「食と健康の達人」拠点がCOI拠点へ昇格
 - ・第6回COI-Tプログラム「『食と健康の達人』拠点」参画機関会議を開催
 - ・COI-Tワークショップ in 岩見沢を開催
 - ・平成26年度「ふるさと北海道応援フォーラム」に参加
 - ・第12回 創成シンポジウム「感染症研究の最前線－エボラ・結核を例に－」を開催
- 4月号**
- ・平成26年度学位記授与式の挙げる
 - ・総長告辞（学士学位記授与式）
 - ・来賓祝辞（学士学位記授与式）
 - ・平成27年度入学式の挙げる
 - ・総長告辞（入学式）

- ・平成26年度「北海道大学総長賞」表彰式を挙
 - ・ 本学永年勤続者表彰に81氏
 - ・ 名誉教授に39氏
 - ・ 北大フロンティア基金
 - ・ 平成27年度北海道大学の予算
 - ・ 平成26年度北海道大学鈴木章科学奨励賞－自然科学実験－表彰式を挙
 - ・ 平成26年北大えるむ賞授与式を挙
 - ・ 平成26年度北海道大学大塚賞授与式を挙
 - ・ 平成26年度クラーク賞表彰式を挙
 - ・ 平成26年度 北海道大学企業研究セミナーを開催
 - ・ 「北大発ベンチャー促進懇談会～サッポロバレーから学ぶ北海道の創業支援策～」を実施
 - ・ 研究者のためのスキルアップセミナー④「研究者のための思考整理術」を開催
 - ・ 教職員国際化セミナーを開催
 - ・ インドネシア及び北海道で「大学の世界展開力強化事業」採択事業の基礎科目を開講
 - ・ ザンビアで留学コーディネーター配置事業を開始
 - ・ 短期留学プログラム「一般教育演習（フレッシュマンセミナー）：グローバル・キャリア・デザイン」を欧州とアジアで実施
 - ・ 国際連携研究教育局（GI-CoRE）量子医理工学グローバルステーションが第2回シンポジウムを開催
 - ・ 国際連携研究教育局（GI-CoRE）人獣共通感染症グローバルステーションが公開セミナーを開催
- 5月号**
- ・ 北海道大学交流デー（中国 復旦大学）を開催
 - ・ 春の叙勲に本学から7氏
 - ・ 「フード&メディカルイノベーション（FMI）国際拠点」が稼働を開始
 - ・ 第2回COI「食と健康の達人」ワークショップ in 岩見沢を開催
 - ・ 平成27年度「全学教育科目に係るTA研修会」を開催
 - ・ 「北海道大学短期留学プログラム（HUSTEP）」及び「日本語研修コース」入学式を挙
 - ・ 北海道大学私費外国人留学生特待プログラム留学生採用証書授与式を挙
 - ・ 保健センターで「保健センター体験見学会～ハートフルキャンパス～」を開催
 - ・ 北大フロンティア基金
- 6月号**
- ・ 名誉教授称号授与式の挙
 - ・ 北海道大学ユニバーシティプロフェッサー称号授与式を挙
 - ・ 北海道大学ディスティングイッシュトプロフェッサー称号授与式を挙
 - ・ 新渡戸スクール「開校式」を挙
 - ・ 総長室事業推進経費による教育改革に係る研究成果発表ワークショップを開催
 - ・ 「ネパール大地震 緊急募金」を実施
 - ・ 北大フロンティア基金
- 7月号**
- ・ フード&メディカルイノベーション国際拠点で落成記念式典を挙
 - ・ FMI/COIオープニングイベントを開催
 - ・ マサチューセッツ大学ボストン校と大学間交流協定を締結
 - ・ ミャンマー パテイン大学と大学間交流協定を締結
 - ・ 山口総長が日米イノベーション人材育成有識者ラウンドテーブルに出席
 - ・ 国際連携アドバイザーによる講演会「国際交流－意義、むずかしさ、推進方法－」を開催
 - ・ 電子教材と遠隔TV会議システムを活用したアクティブラーニング型授業を開講－本学と海外6大学の修士学生64名が受講－
 - ・ 「出入国管理制度説明会」を開催
 - ・ 平成27年度北海道大学レーン記念賞授与式を挙
 - ・ 平成27年度北海道大学宮澤記念賞授与式を挙
 - ・ 第26回北海道大学教育ワークショップ（FD）を開催
 - ・ 北大フロンティア基金
 - ・ 北海道大学歴史的資産保存活用シンポジウムを開催
 - ・ 第10回「食と健康」研究会を開催
 - ・ 講演会「気候変動問題をビジネスチャンスに－環境技術で地域を創る－」を実施
 - ・ 「第2回北大発ベンチャー促進懇談会6月例会～企画段階から起業をサポート！！～」を実施
 - ・ 北キャンパスで合同防災訓練を実施
- 8月号**
- ・ 平成27年度北海道大学ユニバーシティ・アドミニストレーター育成講座を実施
 - ・ 北海道大学 緑のピアガーデン2015を開催
 - ・ 北大フロンティア基金
 - ・ 平成27年度 公益財団法人北海道大学クラーク記念財団助成事業の決定
 - ・ 北海道大学事務職員英語研修（海外派遣）及び海外インターンシップ報告会を実施
 - ・ 平成27年度北海道大学公開講座「人と環境が抱える難問～その解決の最前線～」が終了
 - ・ 平成27年度北海道大学新渡戸賞授与式を挙
 - ・ 北海道大学入試説明会を実施
 - ・ 保健科学研究所 山口博之教授が独立行政法人日本学術振興会「ひらめき☆ときめきサイエンス推進賞」を受賞

- ・国際連携研究教育局（GI-CoRE）量子医理工学グローバルステーションが第2回医学物理サマースクールを開催
- ・国際連携研究教育局（GI-CoRE）が第1回オープンフォーラムを開催
- ・英国レディング大学教員を招聘し共同講義「食料安全保障と貧困削減」を開催－文部科学省スーパーグローバル大学創成支援事業の一環として－
- ・国際連携アドバイザーによる職員国際化研修を開催
- ・構内の伐採木・剪定枝を配布
- ・化学物質取扱講習会を開催
- ・保健センターで第2回健康キャンパス北大「予期せぬ危険から身を守ろう」を開催
- ・研究者のためのスキルアップセミナー⑤「心に響く伝え方『話す力』を磨く」を開催
- ・「第3回北大発ベンチャー促進懇談会7月例会～ベンチャーキャピタルの役割～」を実施
- ・北洋銀行ものづくりテクノフェア2015に出展
- ・「共同研究発掘フェア in 北洋銀行ものづくりテクノフェア」を実施
- ・人材育成本部上級人材育成ステーションS-cubicで第26回「赤い糸会&緑の会」を開催

9月号

- ・台北医学大学と大学間交流協定を締結
- ・国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）と連携協力協定を締結
- ・第13回産学官連携功労者表彰に本学から2名が受賞
- ・独立行政法人日本学術振興会 平成26年度特別研究員等審査会専門委員及び国際事業委員会書面審査員の表彰に本学から2名
- ・札幌キャンパスを駆け抜ける ー2015北海道マラソンー
- ・北大フロンティア基金
- ・平成27年度オープンキャンパスを開催
- ・「北海道大学進学相談会」を東京で開催
- ・現代日本学プログラム課程特別講演会を開催
- ・現代日本学プログラム課程学生が新十津川町観光資源発掘に協力
- ・留学生センター日本語研修コース修了式並びに同コース、日本語・日本文化研修コース（日研コース）及び北海道大学短期留学プログラム（HUSTEP）合同修了祝賀会を開催
- ・日本語教授法ワークショップを開催
- ・平成27年度教員免許状更新講習を開催
- ・第2回新任教員向けキャンパスツアーを開催
- ・函館キャンパスで障害学生支援研修会を開催
- ・第35回創成科学サロン「今、なぜ北極がホットなのか？」&夏の宴を開催
- ・イノベーション・ジャパン2015に出展
- ・平成27年度「ふるさと北海道応援フォーラム」に参加

10月号

- ・北海道大学ホームカミングデー2015の開催
- ー第4回ホームカミングデーを終えてー
- ・総務企画部広報課
歓迎式典・記念講演会
- ・文学研究科・文学部 教育学院・教育学研究院・教育学部 法学研究科・法学部 経済学研究科・経済学部
公開シンポジウム・同窓会総会・同窓会合同懇親会
- ・医学研究科・医学部
北海道大学医学部フラテ祭2015
- ・保健科学院・保健科学研究院・医学部保健学科
保健科学研究院ホームカミングデー（分野紹介・講演会）
- ・歯学研究科・歯学部
最新の歯学研究と歯科医療を知る！！
- ・獣医学研究科・獣医学部
獣医学部同窓会平成27年度通常総会、フォーラム「はばたけ未来のフロンティア・ベッツ」（交流会）、懇親会
- ・情報科学研究科
北楡会母校交流会
- ・水産科学院・水産科学研究院・水産学部／北水同窓会
水産学部卒業生のつとめ～講演会～
- ・環境科学院・地球環境科学研究院
松野環境科学賞授賞式、修了生講演会、コース・研究室紹介、パネル展示、懇親会
- ・理学院・理学研究院・理学部、生命科学院・先端生命科学研究科／理学部同窓会
理学部ホームカミングデー
- ・農学院・農学研究院・農学部
市民公開・農学特別講演会
- ・国際広報メディア・観光学院、メディア・コミュニケーション研究院
HCD@IMCTS修了生meet在学生
- ・工学院・工学研究院・工学部
北海道大学工学系イノベーションフォーラム2015、北工会サークル展示、保護者・OB・OGとの全体懇親会

- ・薬学研究院, 薬学部
薬学部創立60周年記念講演会
 - ・北方生物圏フィールド科学センター
「生物生産研究農場」ミニツアー, 植物園の見学
 - ・附属図書館
企画展示: 「北海道の地名」パネル展示, 「TEDxHokkaidoU連携図書」展示
 - ・総合博物館
中谷宇吉郎復元研究室のガイドツアー
 - ・学務部学務企画課 (北海道地区国立大学連携教育機構)
双方向遠隔授業体験会, 道内教養教育連携実施におけるICT機器を活用した最先端の高等教育について
 - ・北大キャンパスビジットプロジェクト (学務部入試課担当)
キャンパスツアー - 現役北大生とめぐるキャンパス今昔 -
 - ・産学・地域協働推進機構
北キャンパスと産学協働活動の紹介
 - ・ほっかいどう同窓会
ホームカミングデー・ランチパーティー
 - ・恵迪寮同窓会
文化講演と寮歌の集い
 - ・元総長 中村睦男名誉教授が「平成27年度北海道功労賞」を受賞
 - ・公益財団法人北海道大学クラーク記念財団の解散及び事業継承のお知らせ
 - ・北海道大学交流デー (韓国・江原大学校) を開催
 - ・平成27年度北海道大学インターンシップを実施
 - ・北大フロンティア基金
 - ・平成27年度北海道大学フロンティア奨学金受給者の決定
 - ・平成27年度北海道大学鈴木章科学奨励賞—自然科学実験—被表彰者の決定
 - ・平成27年度小島三司奨学金受給者の決定
 - ・平成27年度第1回「北海道大学TF研修会」を開催
 - ・「アクティブ・ラーニング導入ワークショップ」を開催
 - ・「第27回北海道大学教育ワークショップ」を開催
 - ・生物機能分子研究開発プラットフォーム推進センター動物実験施設で慰霊祭を挙げる
 - ・アイヌ民族の文化に触れる「ホリデーインひだか」を開催
 - ・北海道で国際色豊かなサマースクールを開講—「大学の世界展開力強化事業」2事業で—
 - ・国際連携研究教育局 (GI-CoRE) 人獣共通感染症グローバルステーションが第3回人獣共通感染症克服のためのコンソーシアム会議を開催
 - ・米国スタンフォード・ヘルスケアと日立の来訪
 - ・平成27年度「局所排気装置等の定期自主検査者講習」を実施
 - ・平成27年度利益相反セミナーを開催
 - ・第12回八大学産学官連携関係本部長会議を開催
 - ・「研究開発のための各種支援制度セミナー」を実施
 - ・「第4回北大発ベンチャー促進懇談会9月例会~New Trend!エレクトロニクス商社のベンチャー支援~」を実施
 - ・女性研究者学際交流シンポジウム「大学におけるメンタリング再発見~タテヨコナメのつながりが生み出すもの~」を開催
- 11月号
- ・秋の叙勲に本学から7氏
 - ・サイバーセキュリティセンターを設置
 - ・イチョウ並木の一般開放を実施
 - ・「北海道大学進学相談会」を名古屋と大阪で開催
 - ・北大フロンティア基金
 - ・平成27年度北海道地区大学SD研修「大学職員セミナー」を開催
 - ・新渡戸カレッジ10月学内合宿を開催
 - ・「北海道大学短期留学プログラム (HUSTEP)」, 「日本語・日本文化研修コース (日研コース)」及び「日本語研修コース」入学式を挙げる
 - ・北海道大学総長奨励金給付証書並びに北海道大学私費外国人留学生特待プログラム留学生採用証書授与式を挙げる
 - ・南アフリカ共和国プレトリア大学で「日本留学フェア2015」を開催
 - ・北大インターナショナルハウス伏見がオープン
 - ・インターナショナルハウスで消防避難訓練を実施
 - ・新入留学生を対象に防災センター・開拓の村バスツアーを実施
 - ・教育情報システム (ELMS) 講習会を開催
 - ・「学生の主体的な学習を促す授業スキル」ワークショップを開催
 - ・第11回「食と健康」研究会を開催
 - ・研究者のためのスキルアップセミナー⑥「その服装 (かっこう)? それじゃ研究は伝わらない—着こなしも, プレゼンスキルの一つです—」を開催

- 12月号
- ・「北大URAシンポジウム～北大URAが目指すもの～」を開催 100名を超える参加者を迎えての活発なディスカッション
 - ・人材育成本部国際人材育成プログラムI-HoPで移転可能研究力強化セミナー (TSS) を開催
 - ・第3回日本・インドネシア学長会議を開催
 - ・国際本部グローバルリレーション室設置記念「英国シェフィールド大学広報部門長アニー・ゴス氏を招いての講演会及びラウンドテーブル」を開催
 - ・独立行政法人日本学術振興会 平成27年度科研費審査委員の表彰に本学から4名
 - ・第17回九大・北大合同フロンティア・セミナーを開催
 - ・北大フロンティア基金
 - ・AO入試合格者の発表
 - ・帰国子女入試合格者の発表
 - ・大学入試センター試験 本学一般入試個別学力検査等 実施体制等の決定
 - ・高等教育推進機構等自衛消防訓練の実施
 - ・英語発音力講座を開催
 - ・第28回北海道大学教育ワークショップ (FD) を開催
 - ・平成27年度ICTセミナーを開催
 - ・「第5回北大発ベンチャー促進懇談会10月例会～ミドリムシで東証一部上場した大学発ベンチャーのパイオニア 株式会社ユーグレナが創ったベンチャーキャピタル」を実施
 - ・「メッセナゴヤ2015」に出展
 - ・「第29回ビジネスEXPO2015」に出展
 - ・「Matching HUB Kanazawa 2015 Autumn」に出展
 - ・「アグリビジネス創出フェア」に出展
 - ・保健センターで「秋の保健センター見学会 (Autumn Fair at the Health Care Center)」を開催

部局ニュース

- 1月号
- ・教育学研究院が西興部村と連携協定を締結
 - ・薬学研究院・薬学部が台湾 台北医学大学と部局間交流協定を締結
 - ・第2回リーディングプログラム国際シンポジウム “Ambition Across the Disciplines” を開催
 - ・第15回RIES-Hokudai国際シンポジウム「響」を開催 ポスター
 - ・スラブ・ユーラシア研究センターが冬期国際シンポジウム「境界：ユーラシアで交差する動力」を開催
 - ・北方生物圏フィールド科学センターで水圏ステーション 七飯淡水実験所竣工記念式典・祝賀会を挙行
 - ・北方生物圏フィールド科学センターで水圏ステーション 七飯淡水実験所の一般公開を実施
 - ・鈴木 章名誉教授と小学生親子の実験交流イベント「サイエンスパーク in 北海道大学」を開催
 - ・平成26年度メディア・コミュニケーション研究院公開講座「企業とそのイメージを考える」が終了
 - ・国際広報メディア・観光学院がサハリン国立大学で留学説明会を実施
 - ・経済学部で北海道財務局長の特別講演会を開催
 - ・「おしよろ丸関係者向け内覧会」を横浜港で実施
 - ・農学研究院で平成26年度第3回FD研修会を開催
 - ・第12回脳科学研究教育センターシンポジウム「認知のダイナミクス～認知システムの動態を探る～」を開催
 - ・低温科学研究所技術部で第20回技術報告会を開催
 - ・北図書館で「英語多読」関連企画を開催
 - ・附属図書館で「救命導入講習会」を開催
 - ・総合博物館夏季企画展示の巡回展とおしよろ丸V世船内ツアーを小笠原村で開催
 - ・松本友関係資料を大学文書館で受贈
- 2月号
- ・教育学院・教育学研究院・教育学部におけるESDキャンパスアジア平成26年度プログラム全日程を終了
 - ・教育学院・教育学研究院・教育学部が韓国ソウル大学校師範大学と学術交流会を開催
 - ・経済学研究科でシンポジウム「北海道における再生可能エネルギーの展望」を開催
 - ・メディア・コミュニケーション研究院で日韓国際セミナー「日韓両国の社会文化的視線と学問的交流」を開催
 - ・北海道大学-物質・材料研究機構 (NIMS) 連携10周年記念式典に参加
 - ・保健科学研究院が新営・改修完成リニューアル記念式典・内覧会・祝賀会を挙行
 - ・農学院・農学研究院・農学部で「留学生新年会」を開催
 - ・附属図書館・大学文書館共催展示「“With malice toward none, with charity for all” —遠友夜学校の歴史」を開催
- 3月号
- ・駐日オーストラリア大使御一行が農学院・農学研究院・農学部を訪問
 - ・農学院・農学研究院・農学部で北海道建設部と砂防分野において連携・協力に関する覚書を締結
 - ・教育学研究院・公州大学校師範大学10周年記念ジョイントシンポ2014を開催
 - ・環境健康科学研究教育センターでマレーシア科学大学との学術交流を実施
 - ・薬学研究院で国際シンポジウム “Understanding and care of neurodegenerative diseases” を開催
 - ・薬学研究院で合同シンポジウム「創薬に関わるインフォマティクスの潮流—基礎、臨床、ビジネスまで—」を開催
 - ・先端生命科学研究院でFDSD研修会「総会2014」を開催
 - ・生命科学院・先端生命科学研究院等でPBL実践のためのファシリテーター養成講座を開催
 - ・文学研究科で大学院生が総合博物館「産学連携」展示を制作
 - ・総合博物館で「卒論ポスター発表会」を開催

- ・附属図書館で北海道地区機関リポジトリ実務担当者研修「出版社の著作権ポリシーを読む」を開催
 - ・附属図書館で雪像展示とアイスキャンドル点灯
 - ・低温科学研究所でスノーランタンによるライトアップを実施
- 4月号**
- ・「北極域研究センター」を設置
 - ・「埋蔵文化財調査センター」を設置
 - ・農学院・農学研究院・農学部と国際農林水産業研究センター（JIRCAS）が研究開発・教育に関する連携・協力協定を締結
 - ・工学研究院がアイルランド国立ダブリン工科大学と部局間交流協定を締結
 - ・公共政策学連携研究部が台湾 国立金門大学社会科学院と学術・教育交流協定を締結
 - ・公共政策学連携研究部附属公共政策学研究センターがシンポジウム「北海道ダイアログ：東アジアにおける市民社会対話」を開催
 - ・メディア・コミュニケーション研究院で国際シンポジウム「ボーダーレス時代の互恵的第二言語教育－多元的言語学習環境の創造」を開催
 - ・国際広報メディア・観光学院で優秀学生「舞台は地球」賞の授賞式を挙行
 - ・国際広報メディア・観光学院が北京・上海で留学説明会及び同窓会を開催
 - ・国際広報メディア・観光学院が台北で留学説明会及び同窓会を開催
 - ・平成26年度北海道大学・帯広畜産大学共同獣医学課程共同FDの開催
 - ・理学院・理学研究院・理学部等で平成26年度FD合同研修会を開催
 - ・文学研究科・文学部でハラスメントに関するFD研修を開催
 - ・薬学研究院が第5回薬学研究院研究発表会（FD研修会）を開催
 - ・薬学研究院でトップコラボ講演会「難治性疾患に対する創薬研究におけるオックスフォード大学との連携」を開催
 - ・水産科学院各種表彰授賞式を挙行
 - ・水産学部キャンパス移行式及びびくろしお賞授賞式を挙行
 - ・総合化学院創設5周年記念事業を開催
 - ・教育学研究院附属子ども発達臨床研究センターで教職高度化フォーラム「北海道大学における教職課程の役割と今後に向けて」を開催
 - ・環境健康科学研究教育センターが国立保健医療科学院との共同フォーラムを開催
 - ・脳科学研究教育センター発達脳科学専攻第11期修了生に修了証書授与
 - ・附属図書館で国立大学図書館協会北海道地区企画事業「情報発信力スキルアップワークショップ」を開催
 - ・北海道大学病院で新卒者多職種合同歓迎会を開催
 - ・北海道大学病院でひまわり分校開校式
 - ・スラブ・ユーラシア研究センターのグローバルCOEプログラム「境界研究の拠点形成：スラブ・ユーラシアと世界」が最高評価
- 5月号**
- ・歯学研究科・歯学部が韓国 江陵原州大学校歯科大学と部局間交流協定を締結
 - ・水産科学院・水産科学研究院・水産学部が函館市から産学官連携の建物を譲受
 - ・経済学部でメンタルヘルス講演会を開催
 - ・薬学部で新入生歓迎会を開催
 - ・薬学部で平成27年度薬学実務実習開始セレモニーを挙行
 - ・脳科学研究教育センター発達脳科学専攻の開講式を挙行
 - ・理学院等でリーディングプログラム・JACST合同シンポジウム「研究成果をなぜ発表しどのようにつたえるのか」を開催
- 6月号**
- ・教育学研究院でFD研修を実施
 - ・獣医学部で「地方自治体等合同就職説明会」を開催
 - ・函館キャンパスで「春のキャンパス一斉清掃」を実施
 - ・北海道日本ハムファイターズがひまわり分校の子どもたちと交流
 - ・看護週間－「看護の日の夕べ」ほか様々な催しを実施
 - ・環境健康科学研究教育センターがWHO Collaborating Centre（研究協力機関）に指定
 - ・環境健康科学研究教育センターが研究交流会を開催
 - ・附属図書館北図書館西棟オープン・2015年度新渡戸カレッジ開講記念講演会「グローバルキャリアを目指す大学での学び方」を開催
 - ・日・EUフレンドシップウィークイベント「附属図書館留学応援講演会：IELTSで欧米留学を完全攻略せよ!!」を開催
- 7月号**
- ・教育学部4年生の加藤依子さんが第3回アルティメット世界選手権に出場
 - ・経済学部で成績優秀者表彰式を挙行
 - ・会計専門職大学院で日本内部監査協会と共催セミナーを開催
 - ・会計専門職大学院主催による「会計プロフェッションとは!？」を開催
 - ・会計専門職大学院で公認会計士制度説明会を開催
 - ・薬学部でFD研修会を開催
 - ・メディア・コミュニケーション研究院公開講座「大衆文化から考える日韓の65年体制」が終了
 - ・国際広報メディア・観光学院、メディア・コミュニケーション研究院 講演会「『アフリカの奇跡』ルワンダの光と闇：ジェノサイド後の国民統合と和解プロセスをめぐって」が終了
 - ・5研究所・センター合同で一般公開を開催
 - ・環境科学院で北大祭・研究施設公開「知っておきたい環境科学」を開催
 - ・北方生物圏フィールド科学センター和歌山研究林と大学院生が地元企業と協力して柚子ドリンクを開発

- ・北方生物圏フィールド科学センターで「花・ハーブ苗販売」を開催
- ・環境健康科学研究教育センターが研究交流会を開催
- ・附属図書館新渡戸カレッジ応援イベント「Study in Europe !」を開催
- ・附属図書館、総合化学院で博士論文のインターネット公表に関する説明会を実施
- ・リーディングプログラム大学院生が全国博士課程教育リーディングプログラム学生会議を開催
- 8月号
 - ・北方生物圏フィールド科学センター、水産科学研究院が株式会社海遊館と学術交流協定を締結
 - ・薬学研究院・薬学部が韓国 ソウル大学校薬学大学と部局間交流協定を締結
 - ・薬学部で第18回生涯教育特別講座を開催
 - ・経済学研究科でセミナー「北海道ブランドの企業経営をさく」を開催
 - ・経済学部で特別講演会「格差論の再燃－ピケティの衝撃とその評価－」を開催
 - ・国際広報メディア・観光学院で英国シェフィールド大学との教育・研究交流「TLLPスタディ・ウィーク」を開催
 - ・教育学部でESDキャンパスアジア・プログラム2015に向けた事前学習を開催
 - ・第1回理学系キャリアデザインセミナー2015を開催
 - ・理学部で「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～」を開催
 - ・北大農場公開デー「搾乳からアイスクリームまで」
 - ・工学系部局で新規安全主任者講習会、安全衛生教育講習会を実施
 - ・工学系部局で「第1回こころのケアに関する講習会」を開催
 - ・工学系部局で救急救命講習会を実施
 - ・第13回脳科学研究教育センターシンポジウム「脳機能へのアプローチ：解剖・生理・薬理・分子生物から」を開催
 - ・北海道大学病院で夜間想定防火訓練を実施
 - ・北海道大学病院で「第52回ふれあいコンサート 七夕の夕べ」を実施
 - ・附属図書館で「めざせ100万語！英語多読マラソン」スタートアップガイダンスを開催
 - ・法学研究科附属高等法政教育研究センター、附属図書館共同ワークショップ「世界のルールの作り方・使い方」第1回「食の安全と国際経済」を開催
- 9月号
 - ・新渡戸稲造関係掛け軸2幅を大学文書館で受贈
 - ・歯学研究科・歯学部がカロリンスカ研究所歯学研究科と部局間交流協定を締結
 - ・教育学部でESDキャンパスアジア・プログラム2015（北大プログラム）を開催
 - ・水産科学研究院で「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～」を実施
 - ・平成27年度水産学部公開講座「津軽海峡学」が終了
 - ・法学研究科・附属高等法政教育研究センター公開講座「表現の自由と秩序」が終了
 - ・法学研究科でサマーセミナー「最新の知的財産訴訟における実務的課題－著作権・不正競争・商標・意匠等－」を開催
 - ・公共政策大学院が「地方議員向けサマースクール」を開催－地方自治体における空き家対策のあり方について討議－
 - ・経済学研究科地域経済経営ネットワーク研究センターでセミナーを開催
 - ・北海道大学納骨堂慰霊式を挙げる
 - ・薬学研究院が「第6回薬学研究院研究発表会」を開催
 - ・スラブ・ユーラシア研究センターで2015年度夏期シンポジウム「ロシアとグローバルヒストリー」を開催
 - ・附属図書館で北海道大学学術成果コレクション（HUSCAP）運用10周年記念展示を実施
 - ・理学研究院国際化支援室主催・附属図書館共催イベント第11回“Sci-Tech Talk in English：Welcome to Pluto”を開催
 - ・Hokkaidoサマー・インスティテュート・トライアル「課題解決の手法を学ぶ2＋2日間（Part 1）」を開催
- 10月号
 - ・農学研究院で食資源研究棟竣工記念式典を挙げる
 - ・薬学研究院・薬学部で「北海道大学薬学部創立60周年及び総合研究棟建築・管理研究棟改修完成記念式典」を開催
 - ・薬学研究院で「The 1st HU-TMU-KU Joint Symposium for Pharmaceutical Sciences」を開催
 - ・平成27年度 地球環境科学研究院公開講座「北海道の野生生物：自然史と環境変化への応答」が終了
 - ・生命科学院FD研修「就活後ろ倒し・留学生支援と学生指導を考える」を開催
 - ・平成27年度文学研究科FD研修会を開催
 - ・文系4研究科・学部及びスラブ・ユーラシア研究センターで消防訓練を実施
 - ・工学系部局で安全衛生管理講演会を開催
 - ・工学研究院で寄附分野「エコセーフエナジー分野」最終シンポジウムを開催
 - ・医学部・歯学部合同慰霊式を挙げる
 - ・動物慰霊式を挙げる
 - ・リーディングプログラム2期生採用式を挙げる 物質科学のグローバルリーダーをめざして活動開始
 - ・低温科学研究所が宇宙航空研究開発機構（JAXA）平成27年度第一次観測ロケットによる微小重力実験を実施
 - ・北海道大学病院で災害医療訓練、CBRNE災害対策訓練を実施
 - ・北海道大学病院で平成27年度地域連携懇話会を開催
 - ・附属図書館北図書館で札幌市立高等学校「職場体験学習」の生徒を受け入れ
 - ・附属図書館で北海道大学インターンシップ・図書館実習を実施
- 11月号
 - ・触媒科学研究所（旧触媒化学研究センター）改組記念講演会・記念式典・祝賀会を開催
 - ・北方生物圏フィールド科学センターで「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～」を開催
 - ◆オタマジャクシはすごい～実験でわかる動物たちの生き残り戦略～
 - ◆水中の動物はどうやって動いている？～装着型記録計による行動計測をしてみよう！～
 - ◆体験！ベリー研究の最前線“君も育種家になろう！”

- ◆海の森の調査隊～おしよろの“こんぶ”を守るには!?～
- ◆のぞいてみよう海の底，北海道の魚たちをまるごとリサーチ
- ◆有機農業の入り口・肥料がなくても野菜は育つ
- ◆挑戦！イクラをさかんにしてみよう！
- ・北方生物圏フィールド科学センターで畜魂祭を挙
- ・歯学研究科で全北大学校歯医学専門大学院との姉妹校提携25周年記念交流行事を開催
- ・経済学部で第2回プレゼン大会を開催
- ・経済学研究科・経済学部で「学部生，研究生のための大学院ガイダンス」を開催
- ・経済学研究科・経済学部で外国人留学生懇親会を開催
- ・工学研究院で寄附分野「エコセーフエナジー分野」閉講式並びに「循環・エネルギー技術システム分野」開設式を開催
- ・消防訓練の実施
- ・函館キャンパスで「秋のキャンパス一斉清掃」を実施
- ・北海道大学病院指導医ワークショップを開催（医科・歯科）
- ・平成27年度北海道地区大学図書館職員フレッシュ・パーソン・セミナーを開催
- ・故高嶋英雄氏撮影写真等の資料を大学文書館で受贈
- ・北海道大学サマーインスティテュート・トライアル「課題解決の手法を学ぶ2+2日間（part 2）」を開催
- 12月号
- ・水産科学研究院が地方独立行政法人青森県産業技術センターとの連携・協力に関する協定を締結
- ・電子科学研究所附属社会創造数学研究センター設置記念式典を開催
- ・教育学研究院で「北海道大学教育学研究院・中国人民大学教育学院共同シンポジウム2015」を開催
- ・生命科学院が「第3回生命科学国際シンポジウム」を開催
- ・国際広報メディア・観光学院で国際ワークショップを開催
- ・メディア・コミュニケーション研究院公開講座「民衆・記憶・アート」が終了
- ・平成27年度低温科学研究所公開講座「広がる低温の魅力～低温科学の最前線～」を実施
- ・観光学高等研究センター公開講座「記憶をめぐる観光論～アーカイブ構築とアイデンティティ形成～」を開催
- ・平成27年度薬学部成績優秀賞授与式を挙
- ・薬学研究院・薬学部で「実験動物慰霊祭」を挙
- ・歯学研究科で「動物供養祭」を挙
- ・「法科大学院に関するアドバイザーグループ会議」を開催
- ・法学研究科・法学部・公共政策大学院で留学生パーティを開催
- ・環境科学院でFD「ポートフォリオ講習会」を開催
- ・農学研究院で平成27年度第1回FD研修会を開催
- ・北方生物圏フィールド科学センター和歌山研究林で業務体験セミナーを開催
- ・環境健康科学研究教育センターが世界保健機関（WHO）の研究協力機関認証式と指定記念講演を開催
- ・「脳科学研究教育センター合宿研修」の開催
- ・防災訓練等の実施
- ・物質科学リーディングプログラムが第3回国際シンポジウムを開催

お知らせ

- 1月号 ・北方資料閲覧室に新たに木製展示棚を配置
- 2月号 ・過半数代表候補者の決定
- 4月号 ・学生会館七大学展示コーナー「北大ブース」のリニューアル
- ・平成27年度 人間ドックの実施について
- 5月号 ・北海道地区福祉共同事業契約宿泊施設の開設
- 6月号 ・「ビジュアルブック」及び北大グッズの制作について
- 7月号 ・「北海道大学の役職員の給与等の水準（平成26年度）」の概要について
- ・被扶養者の要件の確認
- ・夏季期間における工学系建物の閉鎖の実施について
- 10月号 ・医療費通知事業の実施

寄稿等

- 3月号 ・定年退職を迎えるにあたって

博士学位記授与

- 1月号 ・課程博士32人，論文博士3人
- 4月号 ・課程博士307人，論文博士15人
- 7月号 ・課程博士21人，論文博士4人
- 10月号 ・課程博士91人，論文博士10人

レクリエーション

- 1月号 ・方円会が北大囲碁部との交流会を実施－全日本学生囲碁選手権大会に向けて「檄を飛ばす会」－
- 2月号 ・職員雪合戦部がサッポロオープン雪合戦レディースの部で第3位入賞

- 3月号 ・教職員サッカークラブが平成26年度 第27回札幌社会人フットサルリーグに出場
- 7月号 ・平成27年度学内職員バドミントン大会（個人戦）の開催
- 8月号 ・平成27年度学内バレーボール大会の開催
・卓球部OB会が創立50周年記念卓球交流会及び祝賀懇親会を開催
- 9月号 ・学内教職員ソフトボール大会の開催
- 10月号 ・平成27年度 第45回札幌社会人サッカーリーグに出場
・平成27年度学内教職員フットサル大会の開催
・教職員卓球大会の開催 - 団体戦・ペア・個人戦 -

同窓会との交流

- 2月号 ・恵迪寮同窓会「新年寮歌始めの会」
- 4月号 ・北海道大学インドネシア同窓会を設立、ジャカルタで同窓生懇談会を開催
・北海道大学タイ同窓会を設立、バンコクで同窓生懇談会を開催
・北海道大学函館同窓会「総会及び懇親会」
- 7月号 ・平成27年度北海道大学連合同窓会評議員会・幹事会合同会議の開催

研 修

- 1月号 ・平成26年度北海道地区国立大学法人事務情報化講習会（Access研修 初級編・クエリ編・クエリ応用編）
・平成26年度北海道地区国立大学法人等学生支援担当職員SD研修
- 5月号 ・平成27年度北海道地区国立大学法人等初任職員研修（一般職）
- 7月号 ・平成27年度北海道地区国立大学法人等中堅職員研修
- 9月号 ・平成27年度国立大学法人北海道大学事務職員英語研修（グローバル化対応）
・平成27年度北海道地区国立大学法人等中堅技術職員研修
・平成27年度国立大学法人北海道大学会計実務研修
- 12月号 ・平成27年度北海道地区国立大学法人等事務情報化講習会（Access研修 初級編・クエリ編）
・平成27年度北海道地区国立大学法人等アドビフォトショップ／イラストレータ研修
・平成27年度国立大学法人北海道大学簿記研修
・平成27年度北海道地区国立大学法人等会計事務研修（上級）
・平成27年度北海道大学教務事務実務研修
・平成27年度北海道地区国立大学法人等会計基準研修

表 敬 訪 問

(国内)

- 1月号 ・日本航空株式会社 北海道地区支配人 藤田 克己 氏
・JR北海道ホテルズ株式会社 代表取締役社長 石見 誠嗣 氏
- 2月号 ・株式会社日立製作所 代表執行役 執行役社長兼COO 東原 敏昭 氏
・株式会社紀伊屋書店 代表取締役社長 高井 昌史 氏
- 3月号 ・日東電工株式会社 代表取締役 取締役社長 高崎 秀雄 氏
・株式会社日立製作所 相談役 川村 隆 氏
- 4月号 ・北海道大学国際婦人交流会 一行
・室蘭工業大学長 空閑 良壽 氏
- 5月号 ・日本航空株式会社 北海道地区支配人 中島 喜一 氏
- 6月号 ・北海道副知事 高井 修 氏
・株式会社日立製作所 代表執行役 執行役副社長 齊藤 裕 氏
・北海道副知事 辻 泰弘 氏
- 7月号 ・株式会社日本政策投資銀行 常務執行役員 関根 久修 氏, 北海道支店長 松嶋 一重 氏
・大地みらい信用金庫 理事長 遠藤 修一 氏, 地域みらい創造センター次長/札幌オフィス長 倉又 一成 氏
- 9月号 ・日東電工株式会社 代表取締役 取締役会長 柳楽 幸雄 氏
・株式会社北海道日本ハムファイターズ 代表取締役社長 竹田 憲宗 氏, 常務取締役 球団代表 島田 利正 氏
- 10月号 ・北海道教育大学長 蛇穴 治夫 氏
・株式会社島津製作所 代表取締役社長 上田 輝久 氏
- 11月号 ・株式会社日本政策投資銀行 代表取締役社長 柳 正憲 氏, 代表取締役副社長 渡辺 一 氏

(海外)

- 1月号 ・駐日アイルランド大使館 Anne Barrington 大使
・駐日ベラルーシ共和国大使館 Sergei K. Rakhmanov 特命全権大使
・イルクーツク国立大学 Aleksandr Arguchintcev 学長, 極東連邦大学 Vladimir Kurilov 副学長, 北東連邦大学 Mikhail Prisiazhnyi 副学長, 太平洋国立大学 Vera Luchkova 建築学部長
- 2月号 ・韓国科学技術院 (KAIST) Soonchil Lee 自然科学部長
・仁川大学校 (韓国) 朴 勝振 都市科学大学都市環境工学部教授
- 3月号 ・駐日米国大使館 Caroline Bouvier Kennedy 特命全権大使

- ・駐日オーストラリア大使館 Bruce Miller 特命全権大使
- ・スコルコヴォ科学技術大学（ロシア）Edward Crawley 学長
- ・東南大学（中国）劉 京南 常務副書記
- ・マサチューセッツ大学アマースト校（米国）Katherine S. Newman 学務担当副学長
- ・ボゴール農業大学（インドネシア）Dahrul Syah 研究科長
- ・Indian Institutes of Science Education and Research（インド）一行
- ・ニーデ大学（トルコ）Adnan Gorur 学長
- ・ラップランド大学（フィンランド）Mauri Ylä-Kotola 学長
- 4月号
 - ・仁川大学校（韓国）Choi Sung Eul 学長
 - ・ダブリン工科大学（アイルランド）Brian Norton 学長，駐日アイルランド大使館 Anne Barrington 特命全権大使
 - ・中央研究院（台湾）Ting-Kuo Lee 物理研究所長
- 5月号
 - ・モントリオール大学（カナダ）Christian Baron 医学部生物化学部門長
 - ・タマサート大学（タイ）Naris Chaiyasoot 元学長，タマサート・リーダーシップ・プログラム 執行役会長
 - ・江陵原州大学校歯科大学（韓国）Seong-Hee Ko 歯学部長
- 6月号
 - ・在札幌中国総領事館 滕 安軍 総領事
 - ・アルガルベ大学化学・薬学部（ポルトガル）Isabel Cavaco 助教
 - ・Aleksandras Stulginskis University（リトアニア）Antanas Maziliauskas 学長
 - ・南京農業大学（中国）Xu Xiang 副学長
 - ・駐札幌大韓民国総領事館 Han Hye-Jin 総領事
 - ・華中農業大学（中国）Xianlong Zhang 副学長
 - ・オウル大学（フィンランド）Kari Laine チュール研究センター長 兼 UArctic（北極圏大学）研究副学長
 - ・駐日ドイツ連邦共和国大使館 Robert von Rimscha 公使
- 7月号
 - ・駐札幌中国総領事館 孫 振勇 総領事
 - ・キング・ファハド石油鉱物資源大学（サウジアラビア）Sahel N. Abduljawad 副学長
 - ・駐日イスラエル大使館 Ruth Kahanoff 特命全権大使
 - ・パデュー大学（アメリカ）Dallas Kenny 副学長補佐
- 8月号
 - ・蘭州大学（中国）Shengyi Du Cuiying Honors College 准教授
 - ・ヤンゴン大学（ミャンマー）Thida Lay Thwe 教授
- 9月号
 - ・ミャンマー航空宇宙技術大学 Kyi Thwin 学長
- 10月号
 - ・湖南大学（中国）Zhao Yueyu 学長
- 11月号
 - ・カントー大学（ベトナム）Le Viet Dung 副学長
 - ・全北大学校（韓国）Kwang Won Lee 歯医学専門大学院長
 - ・駐日インド大使館 Amit Kumar 主席公使
 - ・四川大学（中国）Yan Shijing 副学長
- 12月号
 - ・Katheryn Hamilton 氏（札幌農学校第3代教頭 David Pearce Penhallow先生の御曾孫）
 - ・ナイジェリア大学 Edwin Mbadiwe Igbokwe 副学長
 - ・駐日フィンランド大使館 Markus Kokko 報道・文化担当参事官

諸会議の開催状況（平成26年12月～平成27年11月分掲載）

学内規程

- 1月号
 - ・国立大学法人北海道大学人育成本部規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園及び博物館縦覧規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学ディステイニングイッシュトプロフェッサー称号付与規程
 - ・国立大学法人北海道大学ユニバーシティプロフェッサー称号付与規程
 - ・国立大学法人北海道大学組織規則の一部を改正する規則
 - ・国立大学法人北海道大学人事委員会規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学職員就業規則の一部を改正する規則
 - ・国立大学法人北海道大学嘱託職員就業規則の一部を改正する規則
 - ・国立大学法人北海道大学職員退職手当規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学における教員の任期に関する規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学職員の早期退職に関する規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学年俸制教員給与規程
 - ・国立大学法人北海道大学役員給与規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学職員給与規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学特任教員就業規則の一部を改正する規則
 - ・国立大学法人北海道大学子どもの園保育園職員給与規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学契約職員就業規則の一部を改正する規則
 - ・国立大学法人北海道大学子どもの園保育園臨時職員就業規則の一部を改正する規則
 - ・国立大学法人北海道大学における研究活動上の不正行為に関する規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学オープンファシリティ使用規程の一部を改正する規程

- 2月号
- ・国立大学法人北海道大学オープンファシリティ使用規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学百年記念会館規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学学術交流会館規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学ファカルティハウス「エンレイソウ」規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学学生寮規程の一部を改正する規程
- 3月号
- ・国立大学法人北海道大学教育研究組織の長の選考及び任期に関する規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学副研究科長及び副研究院長の任命等に関する規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学特任教員就業規則の一部を改正する規則
 - ・国立大学法人北海道大学における教員の人事等に関する特例規則の一部を改正する規則
 - ・国立大学法人北海道大学における教員の人事等に関する特例規則に基づく審査規定の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学における教員の任期に関する規程の一部を改正する規程
- 4月号
- ・国立大学法人北海道大学オープンファシリティ使用規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学治験取扱規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学組織規則等の一部を改正する規則
 - ・北海道大学における講座等に関する規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学総長選考会議規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学経営協議会規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学教育研究評議会規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学次世代大学力強化推進会議規程等の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学評価規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学監事監査規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学内部監査規程等の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学創成研究機構規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学国際本部規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学国際本部日本語研修コース規程及び北海道大学における聴講生等の検定料等の額に関する規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学高等教育推進機構規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学安全衛生本部規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学大学力強化推進本部規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学産学・地域協働推進機構規程
 - ・国立大学法人北海道大学産学・地域協働推進機構知的財産委員会規程
 - ・国立大学法人北海道大学副学長の任命及び任期に関する規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学教育研究組織の長の任命等に関する規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学附属図書館規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学情報セキュリティ委員会規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学遺伝子組換え実験等安全委員会規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学安全保障輸出管理委員会規程等の一部を改正する規程
 - ・北海道大学名誉学位規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学職務発明規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学発明補償金支払規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学事務組織規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学における教授会への意見聴取事項等に係る規程
 - ・国立大学法人北海道大学における共同プロジェクト拠点の認定等に関する規程
 - ・北海道大学通則の一部を改正する規則
 - ・北海道大学大学院通則の一部を改正する規則
 - ・北海道大学学位規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学の第1年次の学生に係る履修、修学等に関する規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学の学士課程における授業科目の成績の評価に関する規程
 - ・北海道大学現代日本学プログラム課程規程
 - ・北海道大学新渡戸カレッジ規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学全学教育科目規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学国際交流科目規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学大学院特別教育プログラム新渡戸スクール規程
 - ・北海道大学大学院理工系専門基礎科目規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学大学院共通授業科目規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学共同研究取扱規程及び国立大学法人北海道大学受託研究取扱規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学産業創出講座等規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学職員就業規則の一部を改正する規則
 - ・国立大学法人北海道大学における教員のクロスアポイントメントの適用に関する規程
 - ・国立大学法人北海道大学契約職員就業規則の一部を改正する規則
 - ・国立大学法人北海道大学短時間勤務職員就業規則の一部を改正する規則

- ・国立大学法人北海道大学子どもの園保育園臨時職員就業規則の一部を改正する規則
- ・国立大学法人北海道大学特任教員就業規則の一部を改正する規則
- ・国立大学法人北海道大学嘱託職員就業規則の一部を改正する規則
- ・国立大学法人北海道大学職員の行動評定及び能力評定の実施に関する規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学における教員の任期に関する規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学コンプライアンス基本規程
- ・国立大学法人北海道大学職員労働時間、休憩、休日及び休暇規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学役員給与規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学役員退職手当規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学年俸制教員給与規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学職員給与規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学子どもの園保育園職員給与規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学職員退職手当規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学客員教員規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学招へい教員規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学安全衛生管理規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学遺伝子組換え実験等安全管理規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学における人を対象とする医学系研究に関する規程
- ・国立大学法人北海道大学病原体等安全管理規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学放射線障害予防規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学エックス線障害予防規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学自家用電気工作物保安規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学有害廃液取扱規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学公印規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学文書処理規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学法人文書管理規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学個人情報管理規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学情報公開規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学における個人情報の開示等に関する規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学における財務及び会計に関する職務権限規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学予算決算及び経理規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学固定資産管理規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学コーポレートカード利用規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学インターナショナルハウス使用料等規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学子どもの園保育園規程の全部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学子どもの園保育園運営委員会規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学文学部規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学教育学部規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学法学部規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学経済学部規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学理学部規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学医学部規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学歯学部規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学病院規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学薬学部規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学工学部規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学農学部規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学獣医学部規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学水産学部規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学院文学研究科規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学院法学研究科規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学院経済学研究科規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学院歯学研究科規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学院獣医学研究科規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学院情報科学研究科規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学院生命科学院規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学院総合化学院規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学院医学研究科規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学院水産科学院規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学院環境科学院規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学院理学院規程の一部を改正する規程

- ・北海道大学大学院農学院規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学院教育学院規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学院保健科学院規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学院工学院規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学院公共政策学教育部規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学院水産科学研究院規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学院理学研究院規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学院農学研究院規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学電子科学研究所規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学電子科学研究所附属社会創造数学研究センター規程
- ・北海道大学薬学部附属薬用植物園規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学水産学部附属練習船規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学院医学研究科附属動物実験施設規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学院獣医学研究科附属動物病院規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学院理学研究院附属ゲノムダイナミクス研究センター規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学院理学研究院附属原子核反応データベース研究開発センター規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学院先端生命科学研究院附属次世代ポストゲノム研究センター規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学院公共政策学連携研究部附属公共政策学研究センター規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学低温科学研究所附属環オホーツク観測研究センター規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学電子科学研究所附属グリーンナノテクノロジー研究センター規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学遺伝子病制御研究所附属動物実験施設規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学遺伝子病制御研究所附属感染癌研究センター規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学院工学研究院附属エネルギー・マテリアル融合領域研究センター規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学部局長等連絡会議規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学人事委員会規程等の一部を改正する規程
- ・北海道大学触媒化学研究センター規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学情報基盤センター規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学アイソトープ総合センター規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学量子集積エレクトロニクス研究センター規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学北方生物圏フィールド科学センター規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学観光学高等研究センター規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学アイヌ・先住民研究センター規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学社会科学実験研究センター規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学環境健康科学研究教育センター規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学脳科学研究教育センター規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学サステイナビリティ学教育研究センター規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学総合博物館規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学保健センター規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学人材育成本部規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学サステイナブルキャンパス推進本部規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学入学者選抜委員会規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学触媒化学研究センター協議員会規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター協議員会規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学情報基盤センター協議員会規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学アイソトープ総合センター運営委員会規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学量子集積エレクトロニクス研究センター運営委員会規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学北方生物圏フィールド科学センター運営委員会規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学観光学高等研究センター運営委員会規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学アイヌ・先住民研究センター運営委員会規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学社会科学実験研究センター運営委員会規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学環境健康科学研究教育センター運営委員会規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学脳科学研究教育センター運営委員会規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学サステイナビリティ学教育研究センター運営委員会規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学総合博物館運営委員会規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学保健センター運営委員会規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学情報基盤センター大型計算機システム利用規程の一部を改正する規程

- ・北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター協議会規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学外国語教育センター規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学外国語教育センター運営委員会規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学文書館規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学文書館運営委員会規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学文書館利用規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学北極域研究センター規程
- ・北海道大学北極域研究センター運営委員会規程
- ・北海道大学埋蔵文化財調査センター規程
- ・北海道大学埋蔵文化財調査センター運営委員会規程
- ・北海道大学知識メディア・ラボラトリー規程等を廃止する規程
- ・北海道大学国際連携研究教育局規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学国際連携研究教育局運営委員会規程の一部を改正する規程
- 6月号
 - ・国立大学法人北海道大学病院特定臨床研究監査委員会規程
 - ・国立大学法人北海道大学病原体等安全管理規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学組織規則の一部を改正する規則
 - ・北海道大学における講座等に関する規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学大学院工学研究院規程の一部を改正する規程
- 7月号
 - ・国立大学法人北海道大学高等教育推進機構規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション共同利用規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション共同利用協議会規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学における財務及び会計に関する職務権限規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学組織規則の一部を改正する規則
 - ・国立大学法人北海道大学総合IR室規程
 - ・国立大学法人北海道大学内部監査規程等の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学事務組織規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学安全衛生管理規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学公印規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学文書処理規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学個人情報管理規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学予算決算及び経理規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学寄附金規則の一部を改正する規則
 - ・国立大学法人北海道大学オープンファシリティ使用規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学創成研究機構共用機器管理センター分析・加工受託規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学大学連携研究設備ネットワーク設備利用規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学ナノテクノロジープラットフォーム事業による設備利用規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学病院規程の一部を改正する規程
- 8月号
 - ・国立大学法人北海道大学における教員の任期に関する規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター規程の一部を改正する規程
- 9月号
 - ・北海道大学の第1年次の学生に係る履修、修学等に関する規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学脳科学研究教育センター規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学における教員の任期に関する規程の一部を改正する規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学ディスティンディングイシュープロフェッサー称号付与規程の一部を改正する規程
- 10月号
 - ・国立大学法人北海道大学国際本部規程等の一部を改正する規程
 - ・北海道大学通則の一部を改正する規則
 - ・北海道大学における特別聴講学生及び特別研究学生に係る授業料等の不徴収に関する規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学国際本部日本語・日本文化研修コース規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学における聴講生等の検定料等の額に関する規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学国際本部日本語研修コース規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学国際交流科目規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学インターナショナルハウス規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学インターナショナルハウス使用料等規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学組織規則の一部を改正する規則
 - ・国立大学法人北海道大学経営協議会規程等の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学における教員の任期に関する規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学公印規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学文書処理規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学情報公開・個人情報保護審査委員会規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学触媒化学研究センター規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学触媒化学研究センター運営委員会規程の一部を改正する規程

- ・北海道大学図書館委員会規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学アイソトープ総合センター運営委員会規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学量子集積エレクトロニクス研究センター運営委員会規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学総合博物館運営委員会規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学保健センター運営委員会規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学における講座等に関する規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学創成研究機構共用機器管理センター分析・加工受託規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学教育研究組織の長の任命等に関する規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学事務組織規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学全学運用教員規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学触媒科学研究所附属触媒連携研究センター規程
- ・北海道大学情報基盤センター規程の一部を改正する規程
- 11月号
 - ・北海道大学社会科学実験研究センター規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学教育研究組織の長の任命等に関する規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学役職員倫理規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学年俸制教員の業績評価の実施に関する規程
 - ・国立大学法人北海道大学宿舍貸与規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学国際本部規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学における北大発ベンチャー称号授与規程
 - ・国立大学法人北海道大学職員労働時間、休憩、休日及び休暇規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学職員給与規程の一部を改正する規程
- 12月号
 - ・国立大学法人北海道大学特定認定再生医療等委員会規程
 - ・北海道大学北極域研究センター規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学オープンファシリティ使用規程の一部を改正する規程

訃	報
---	---

- | | |
|------|---------------|
| 1月号 | ・名誉教授 松野 誠夫 氏 |
| 2月号 | ・名誉教授 山本 正 氏 |
| 3月号 | ・名誉教授 八木 康一 氏 |
| 6月号 | ・名誉教授 福永 有利 氏 |
| | ・名誉教授 盛田 フミ 氏 |
| | ・准教授 井上 純一 氏 |
| 9月号 | ・名誉教授 谷口 和彌 氏 |
| 10月号 | ・名誉教授 寺沢 浩一 氏 |
| | ・名誉教授 八鍬 利郎 氏 |
| | ・名誉教授 五十嵐 清 氏 |
| 11月号 | ・名誉教授 安田 壽一 氏 |
| | ・名誉教授 南部 悟 氏 |
| | ・名誉教授 深瀬 忠一 氏 |
| | ・名誉教授 長岡 新吉 氏 |
| 12月号 | ・名誉教授 勝井 義雄 氏 |

資	料
---	---

- | | |
|------|--|
| 4月号 | ・平成27年度入学者の道内・道外別及び卒業年度調べ
・平成27年度入学者の都道府県分布及び地域比率 |
| 5月号 | ・役職員数（平成27年5月1日現在） |
| 6月号 | ・在籍学生数（平成27年5月1日現在）
・平成27年度外国人留学生数（平成27年5月1日現在）
・平成27年度国別外国人留学生数（平成27年5月1日現在）
・平成26年度卒業・修了者の就職等状況一覧 |
| 11月号 | ・役職員数（平成27年10月1日現在）
・在籍学生数（平成27年10月1日現在）
・広報誌等一覧（平成27年10月調査） |
| 12月号 | ・平成27年度外国人留学生数（平成27年11月1日現在）
・平成27年度国別外国人留学生数（平成27年11月1日現在）
・北大時報掲載記事事項別一覧（平成27年掲載分） |

編集メモ

●11月末に、11月としては62年ぶりの積雪となった札幌ですが、その後12月は比較的穏やかな天候が続いています。

●本年は広報活動ツールとして「ビジュアルブック」を作成し、多くの皆様に活用していただいています。増刷しましたので、ご入り用の際はお知らせください。

●北大時報は、この1年も学内の皆様のご協力により発行することができました。厚くお礼申し上げます。



2007.12.16 JR北海道 苗穂運転所（札幌市）

北の鉄道風景 33 冬の鉄路を護る

レールや橋梁、トンネルなどの構造物、更には架線や信号などの電気設備の状態を定期的に把握し、規定の性能を維持することで、列車運行の安全性を担保する一連の作業を保線という。北海道の鉄道では、冬期間に降雪があることから、除雪も保線作業に含まれることとなる。鉄路の除雪は、ラッセル車や排雪モーターカー等の除雪専用車両によってなされる。その場合であっても、例えば踏切やポイント

などのように、微細な機構が含まれる構造物については、人力による除雪が欠かせない。写真は除雪作業に従事している保線員たちである。人力による除雪作業は重労働である。保線に係わる多くの人達の苦勞によって、厳冬期の鉄路は護られている。

情報科学研究科 准教授 山本 学

北大時報 ⑫ No.741 平成27年12月発行

北海道大学総務企画部広報課 〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目

TEL：(011) 706-2610 / FAX：(011) 706-2092 / E-mail：kouhou@jimuhokudai.ac.jp

北大時報はインターネットでもご覧いただけます。http://www.hokudai.ac.jp/pr/publications/jihou.html